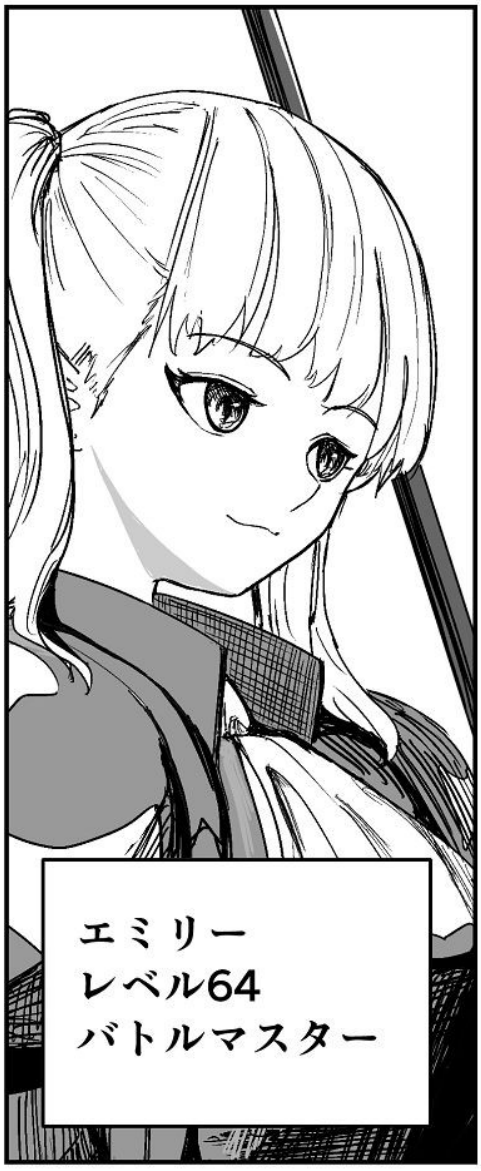
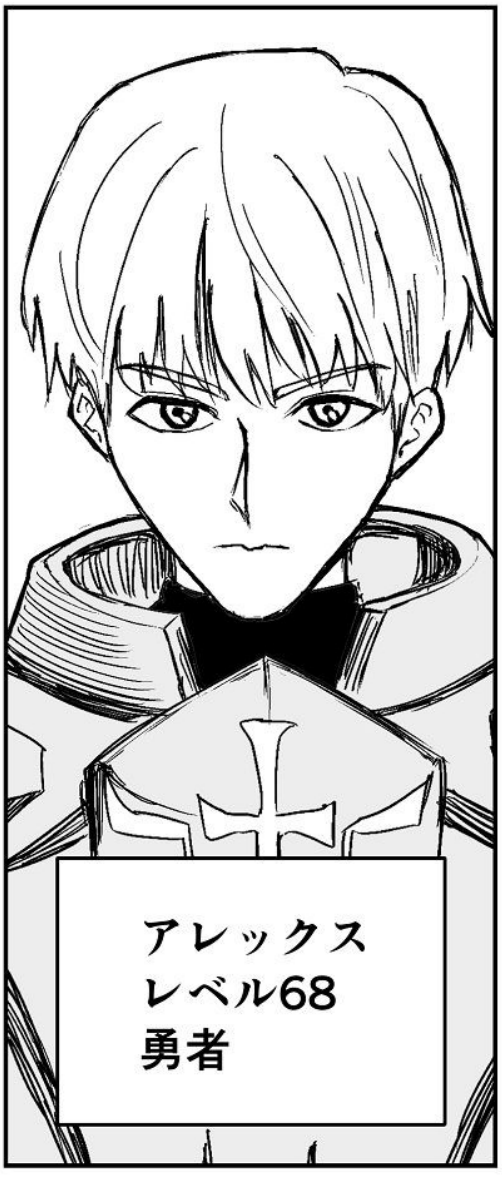
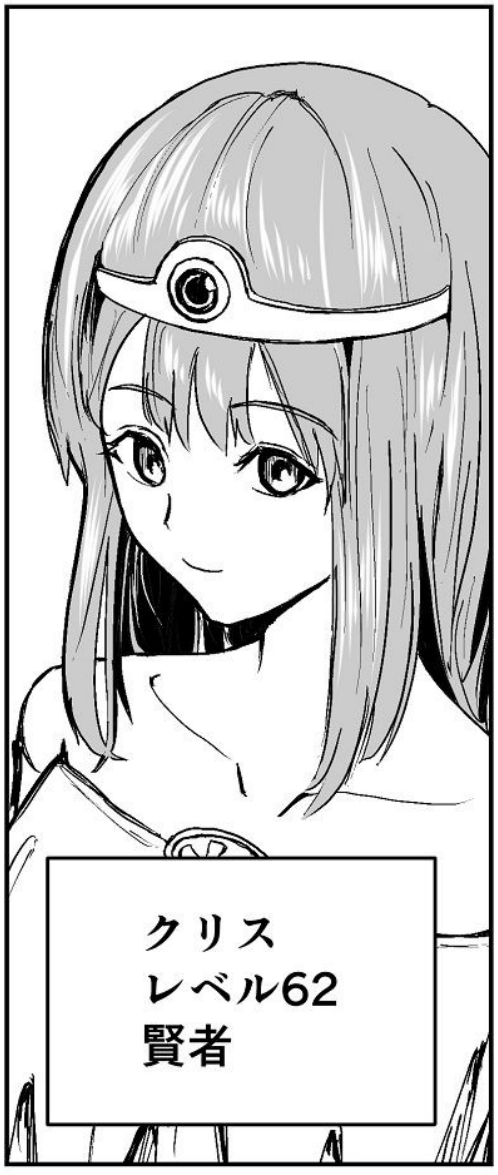

魔王に挑んだら
仲間を犯され
洗脳されて
魔王の妻に
されてしまった話

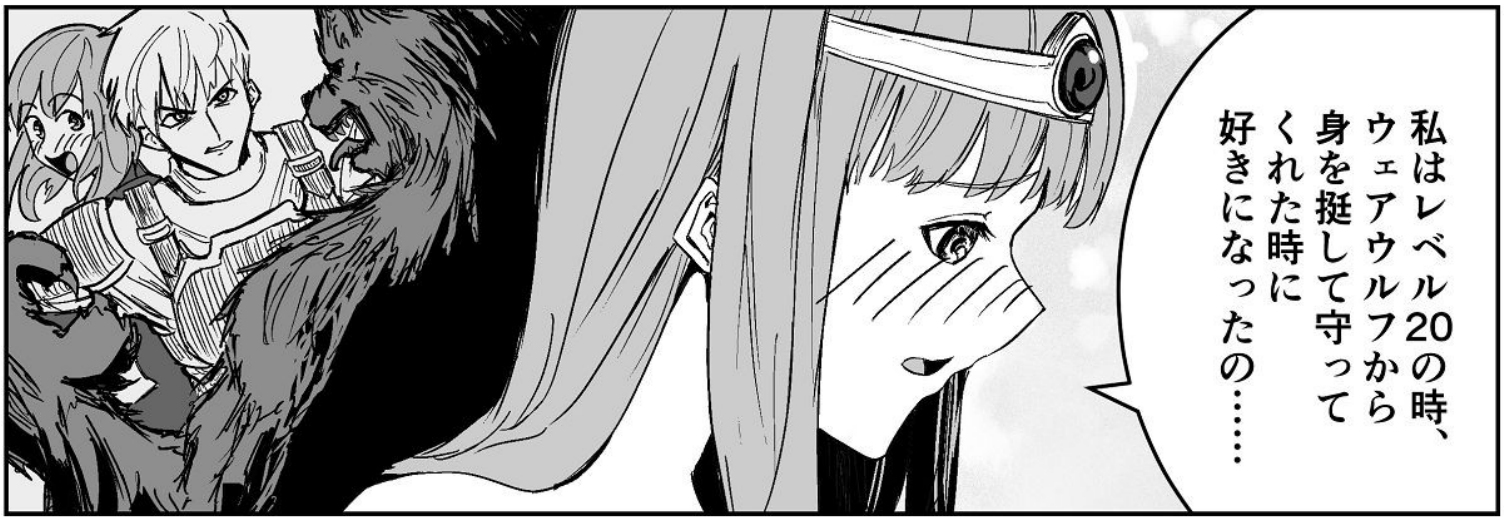

ついにここまで来たか……
ゴロゴロ…

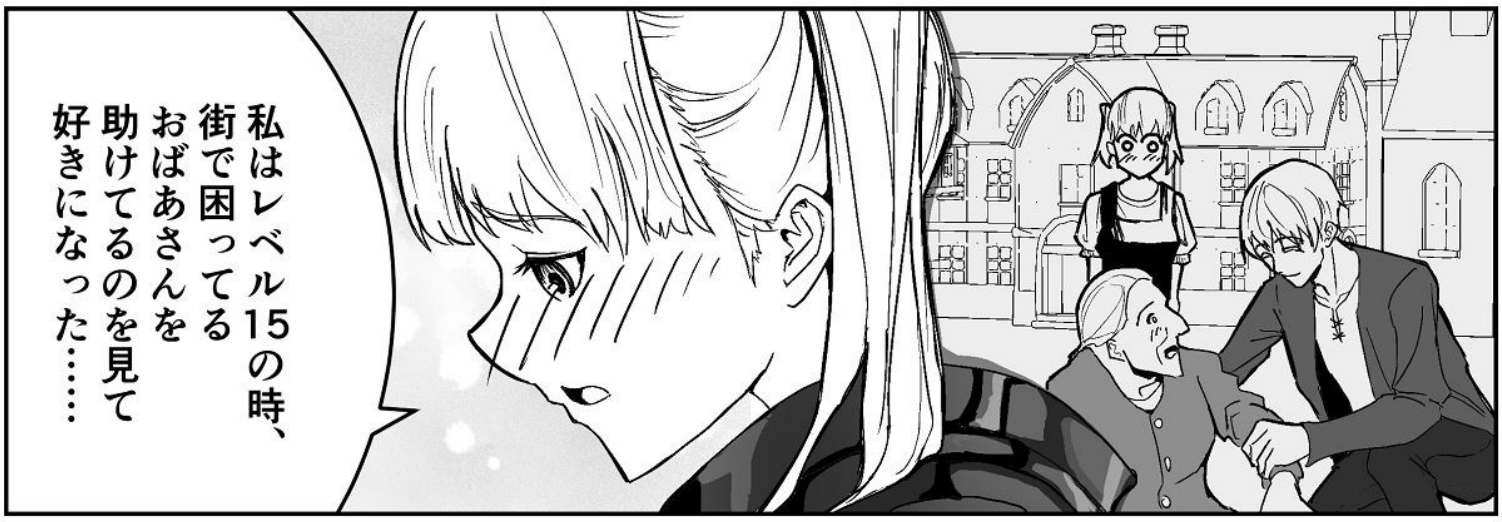

エミリー
レベル64
バトルマスター


アレックス
レベル68
勇者


クリス
レベル62
賢者

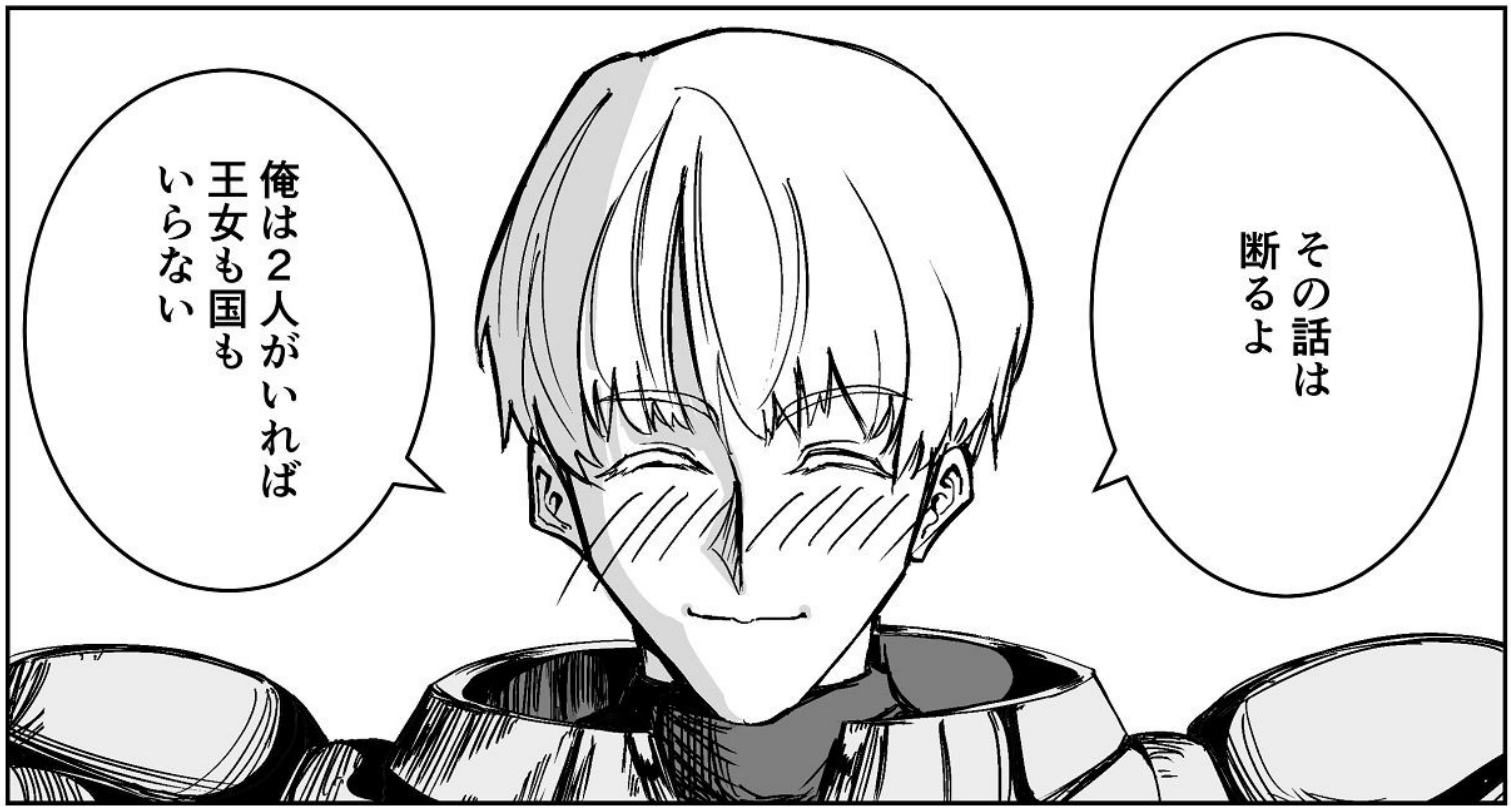

最後の戦いだ
2人とも準備はいいか？
……
モジ…
モジ…
どうかした？
モジ…
モジ…
え
えっと……
その……
これが最後なのよね？
ああ
実はね、言っておきたいことがあって……
なに？
アセ
アセ
私たちふたりとも
キュン…
貴方のことが好きなの……
!?
ドン
そ
そうなの……？
うん

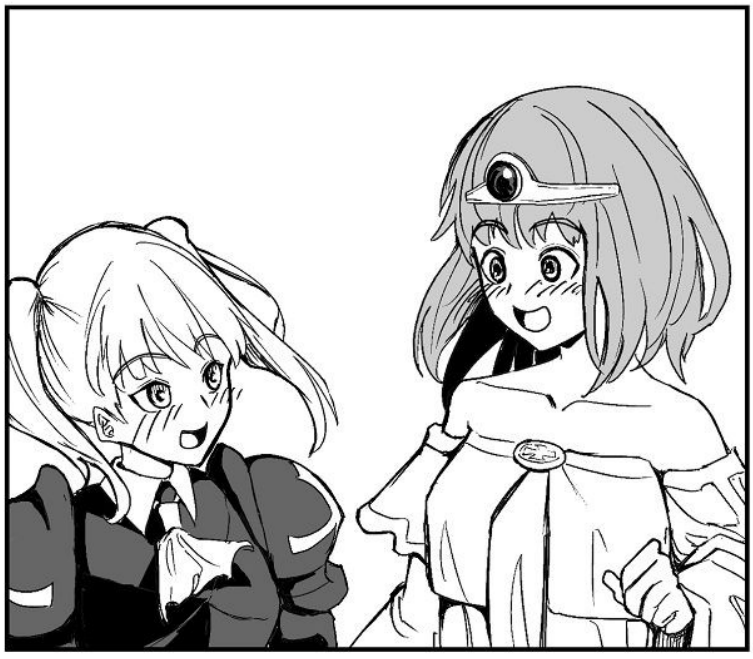

私はレベル20の時、
ウェアウルフから
身を挺して守って
くれた時に
好きになったの……


私はレベル15の時、
街で困ってる
おばあさんを
助けてるのを見て
好きになった……

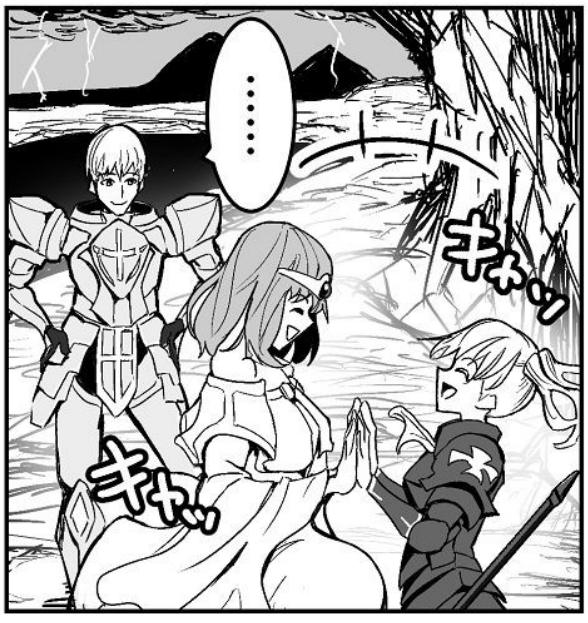

全てが終わったら、
貴方がお姫様と
結ばれるのは
分かってる
でも私たち、
自分の気持ちだけは
伝えたかったの
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ


そうだったのか……
……
実はさ
俺も2人のこと
好きなんだ
愛してる
!?
ドキーンッ!
でも2人とも
本当に大好きで
ポリ
ポリ
どっちかを
選ぶなんて
できそうに
ないから
この思いは胸に
しまっとこうと
思ってたんだ……
もし2人さえ
よければ
この戦いが
終わった後、
2人と一緒に
暮らしたい
!?
ドキッ!
で、でも
おず…
お姫様は
……？
おず…

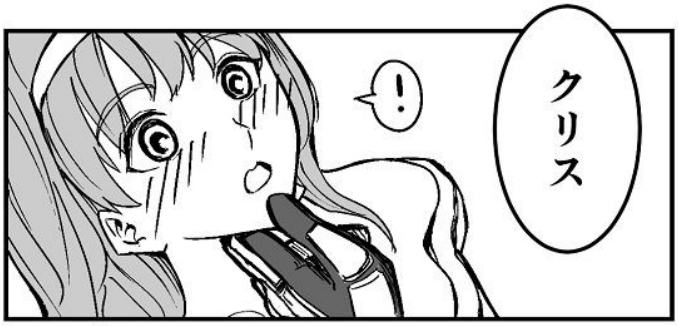

その話は
断るよ
俺は2人がいれば
王女も国も
いらない




嬉しい……
ギュッ……！
勇気出して
よかったね……
うん……


……
キャッ
キャッ


ス…


クリス
！


エミリー
!?


チュッ
チュッ
!!
ドキーーン!!
あそこから
戻ったら
続きをしよう
・・・
ええ！
たくさん
しましょう！


ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ


ドゴゴゴ
アレックス！
ギリッ…
こんなものか
今代の勇者は
ドシーン
取るに
足らんな……
魔王
レベル99


少しは期待していたのだがな……
ギシッ
戦闘は退屈しのぎにもならんわ

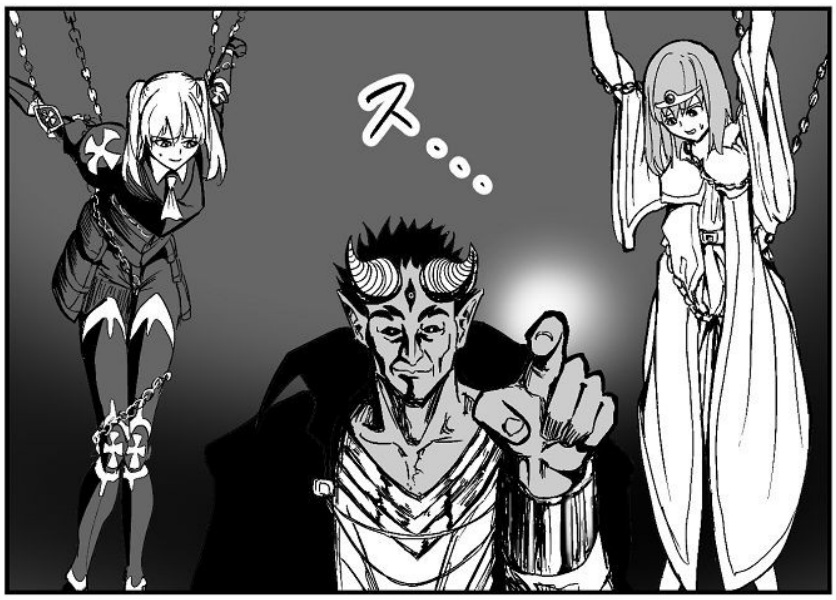

まぁいいいつものことだ
人間の楽しみ方は他にある……


パチンッ


ガクッ
！


キュラ
キュラ
!?


何を！
何をする気だ！


ス……


キン
！
ザク
ザク
ザク
ザク
ぐあ！


アレックス！
フッ
フッ
フッ


さて
1つ講義をしてやろう
ス…
うう…
魔族の生態についてだ


魔族は
人間のメスと
交わらねば
子を作れんのだ
つまり
生殖本能は
人間のオスと
同じ
それがお前ら
人間がまだ
滅んでいない
理由だ
お前らはメスが
魔族の子を
孕むためだけに
生かされている


どういう意味か
分かるか？
ビクッ！
……！


嫌よっ！
魔族とまぐわう
なんて
想像しただけで
吐き気がする！


そんなことに
なるくらいなら
舌を噛んで
今すぐ死ぬわ！

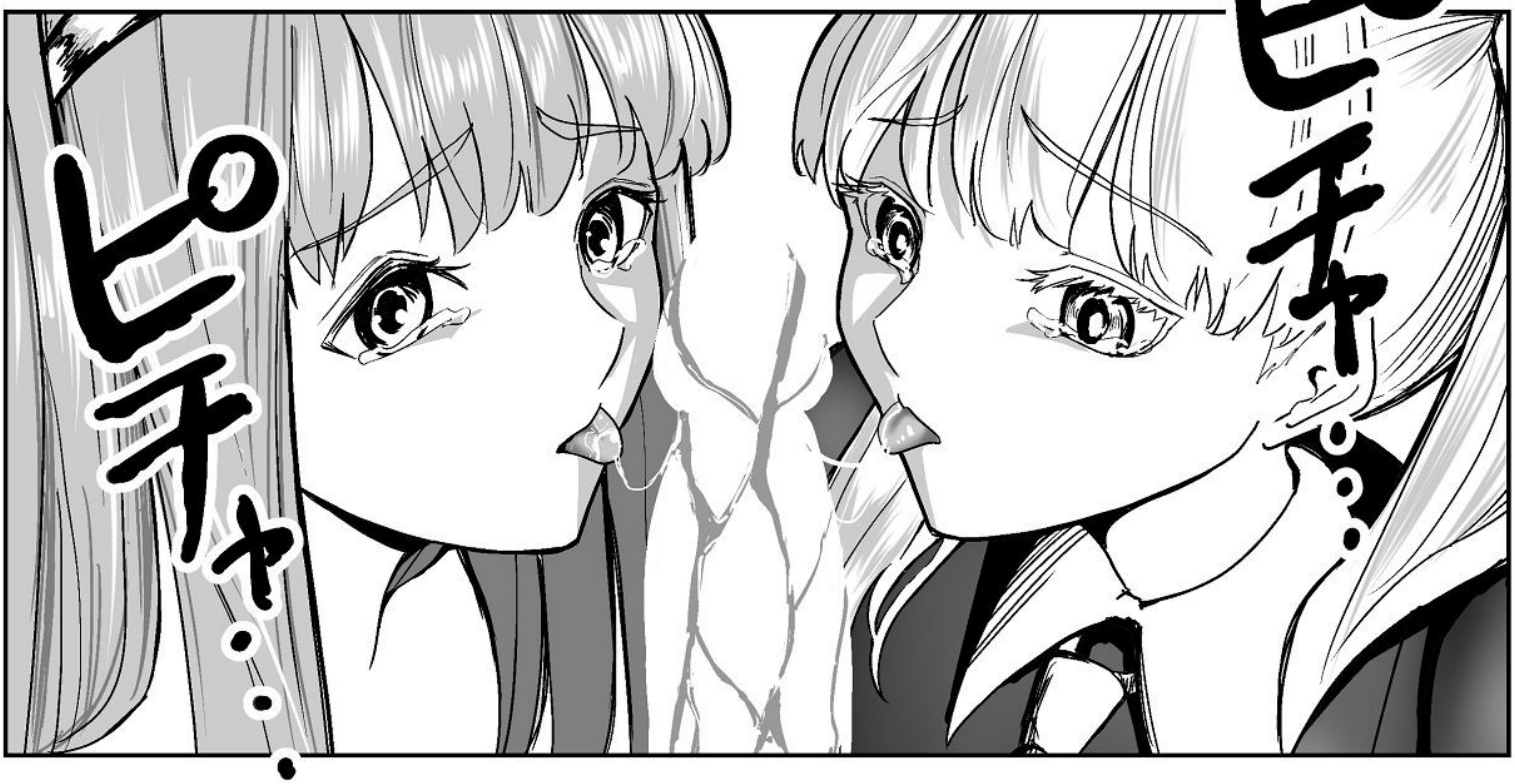

くっくっく
いいぞ
その気丈さ
部下が献上
してくる
女どもとは
モノが違うわ
そそるぞ
だがいいのか？
従わねば
お前らの勇者は
死ぬことになるぞ？
戦闘中に
分かった
お前らは
あの男の
つがいだろう
うぐ…
お前らが
我に従うなら
やつの命は
保証しよう
どうする？
……！

どう……
したらいいの？

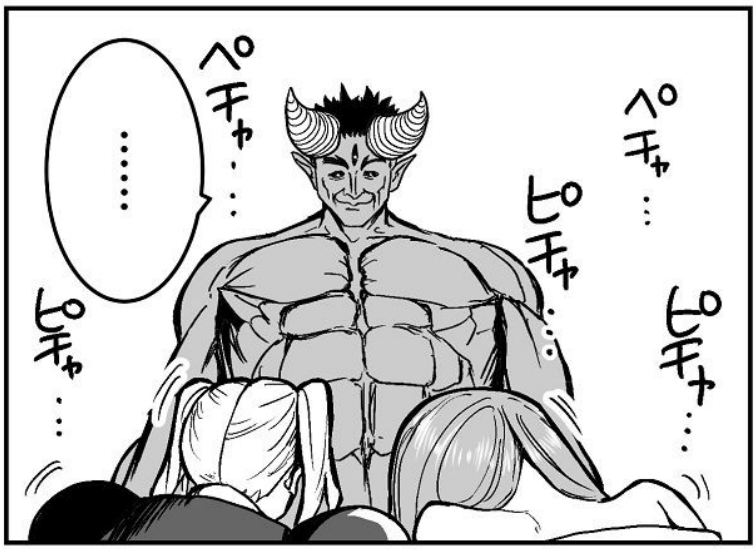


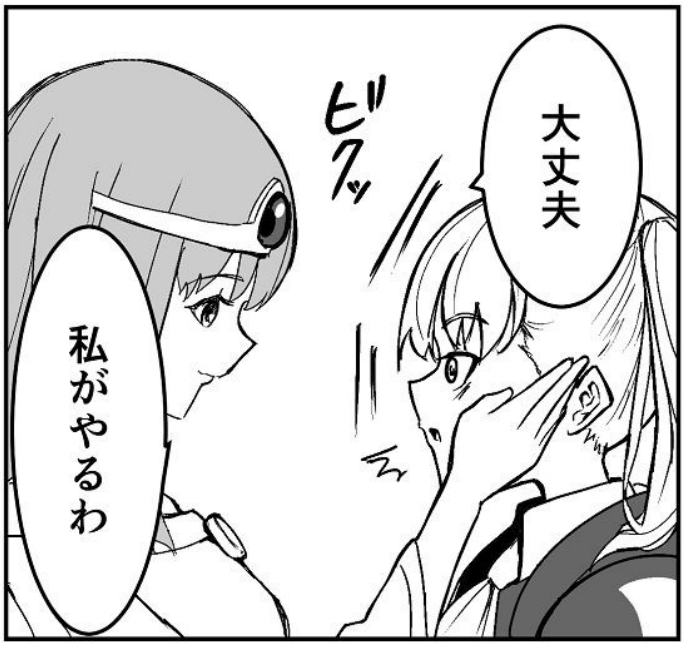



ピチャ
ピチャ
ピチャ
ペチャ
ピチャ
ピチャ
ピチャ
ペチャ
ピチャ


ピチャ…
ピチャ…


おい、なめるだけでは刺激が足りん
しゃぶれ
しごきながらな

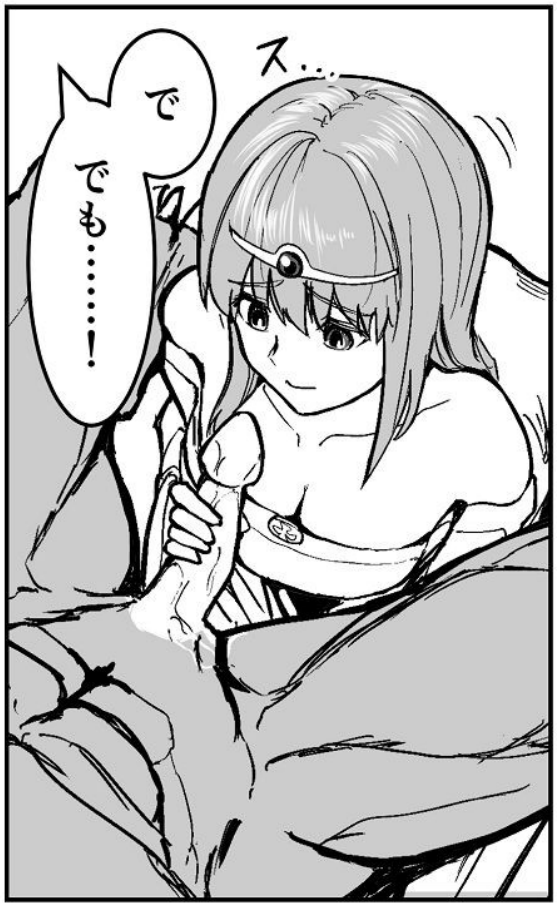

ペチャ…
ペチャ…
ピチャ…
……
ピチャ…


大丈夫
ビクッ
私がやるわ


しゃぶる？これを？
絶対ムリ……！
……

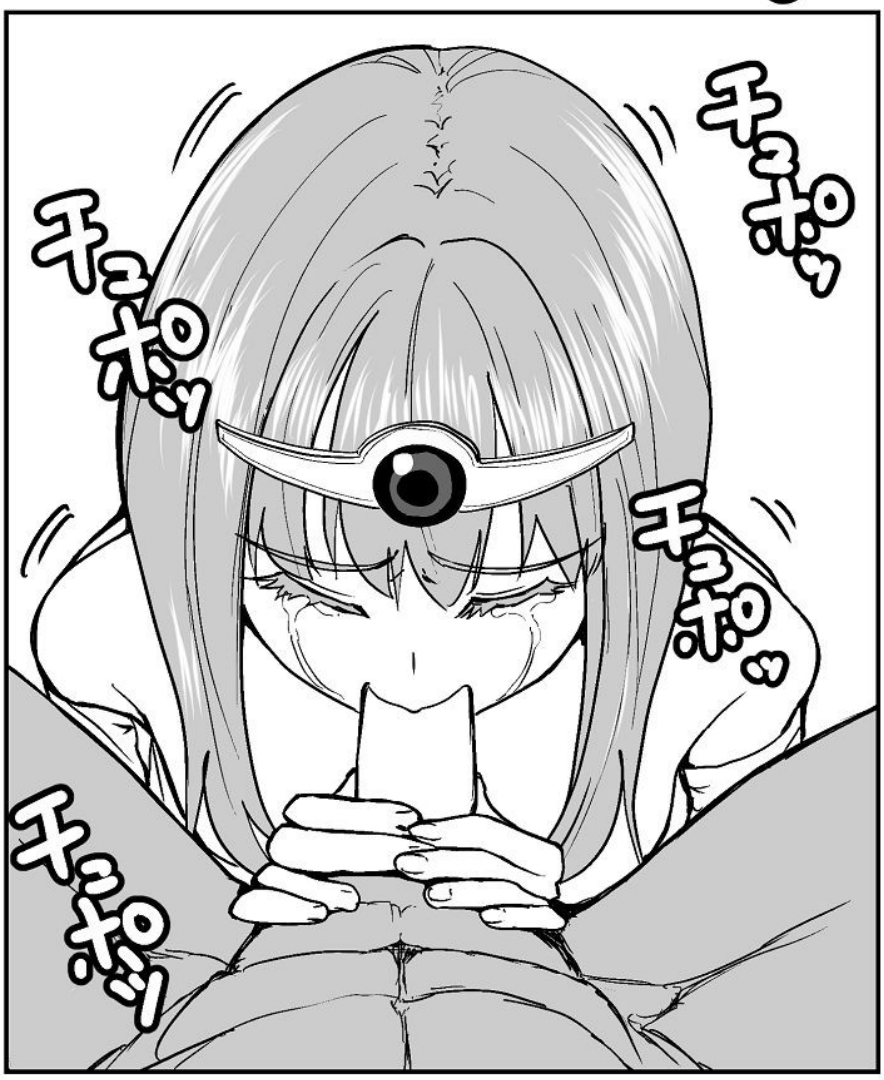

おい
早くしろ
ビクッ


ジー


ス…
で
でも……！




ツプ

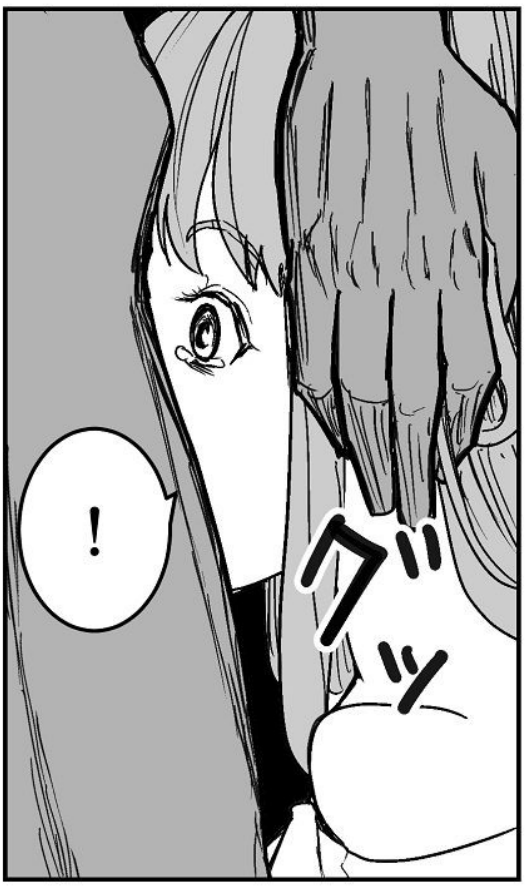

チュポッ
チュポッ
チュポッ
チュポッ

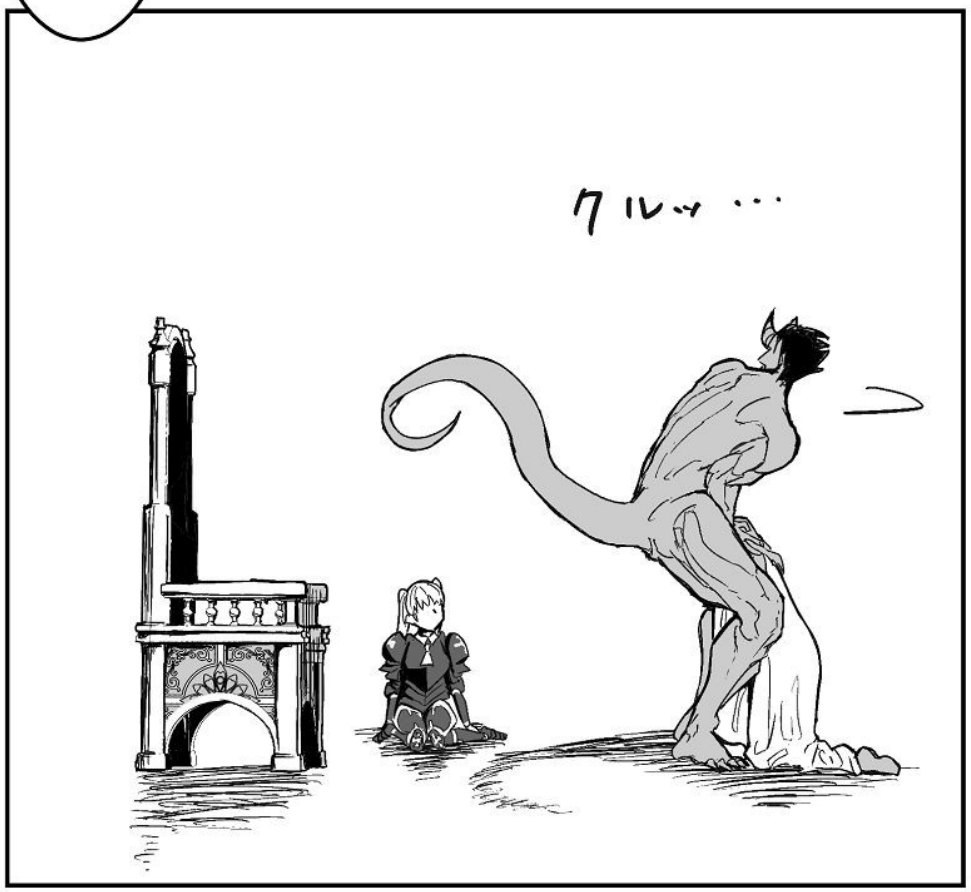

チュポッ
チュポッ
おお…
チュポッ
チュポッ

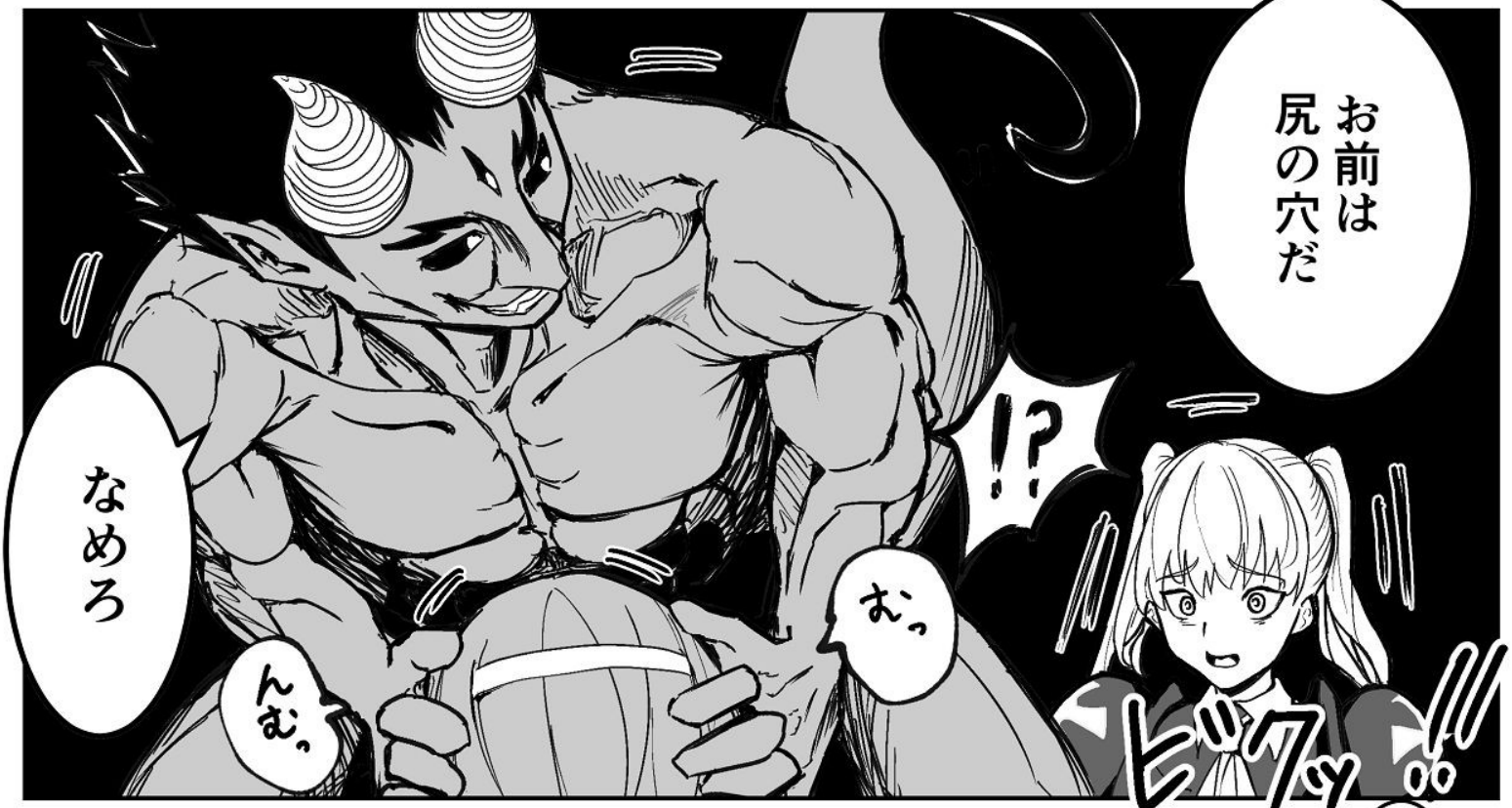

……！
チュポ…
チュポ…
チュポッ


ごめん……！
クリス、ごめん！
私最低だ……！
ギリィン……！


おいお前
チュポッ
チュポッ
なにを
呆けている


クッ
！

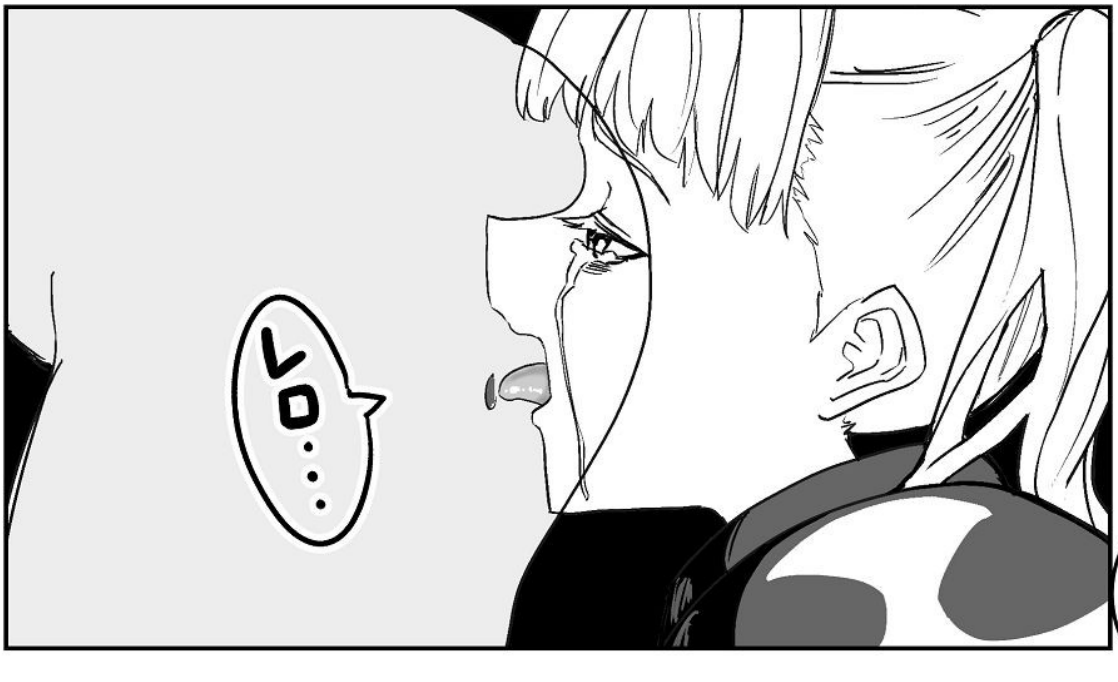

クルッ…


お前は
尻の穴だ
!?
むっ
んむっ
なめろ
ヒック!!


5秒以内だ
でなければ
勇者を殺す
ムリッ
ムリ!
ひっ


5
やらなきゃ
アレックスが
死んじゃう!
4
アレックスの
ため……!
3
ハッ!
ハッ!


2
ギュ…!
1

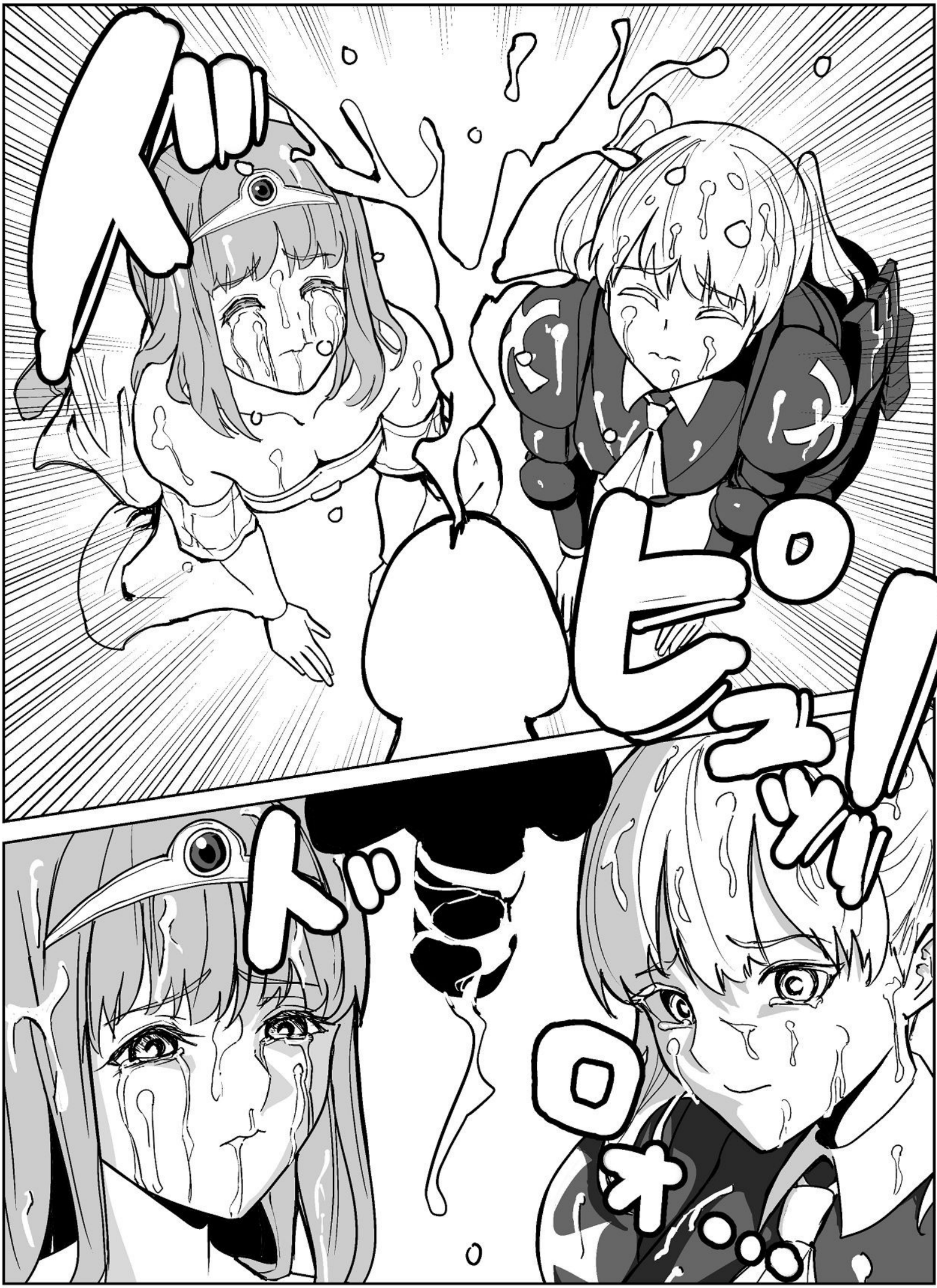

レロ…

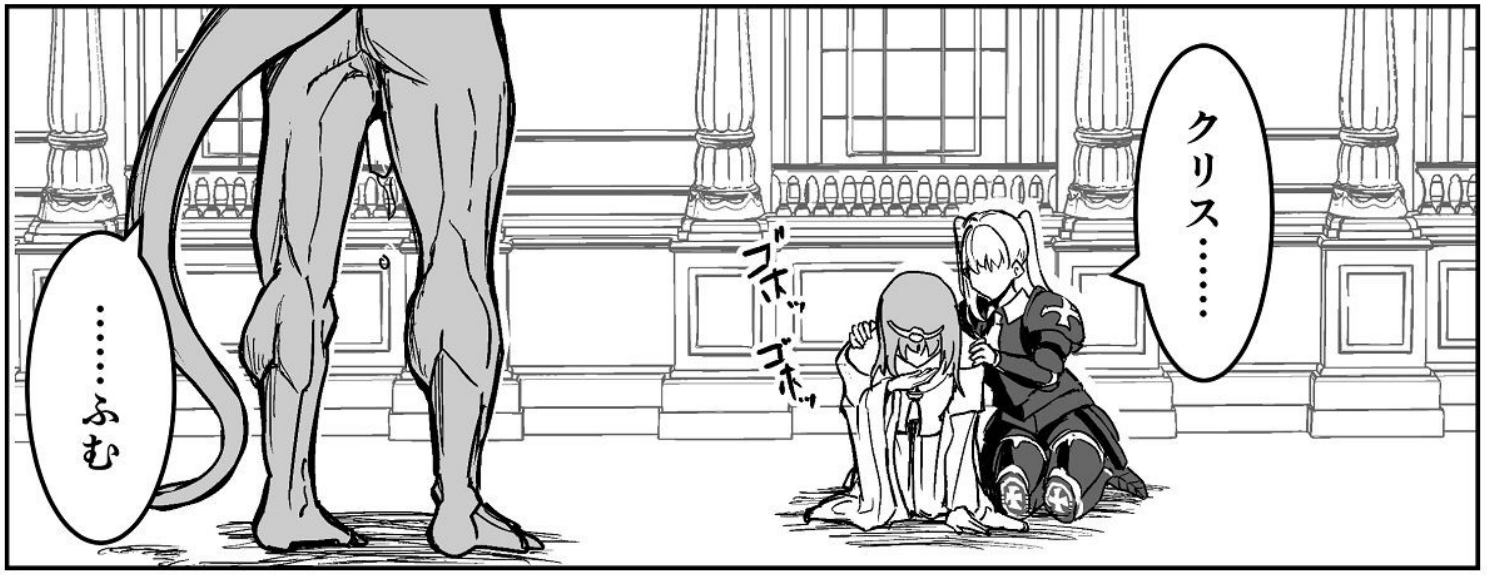

ふむ
悪くない
お前の女達はなかなかいいぞ
勇者よ


チュポ
チュポッ
クチュッ
クチュッ
クチュッ
チュポッ
クチュッ
クチュッ
チュポッ
チュポッ
グッ…
ビクッ
……
んふっ!


ビクッ
んぶっ?
ビクッ
ミノホッ
んんっ!
ミノホッ
ミノホッ
ミノホッ
ミノホッ
ミノホッ
ふぁっ
はぶっ

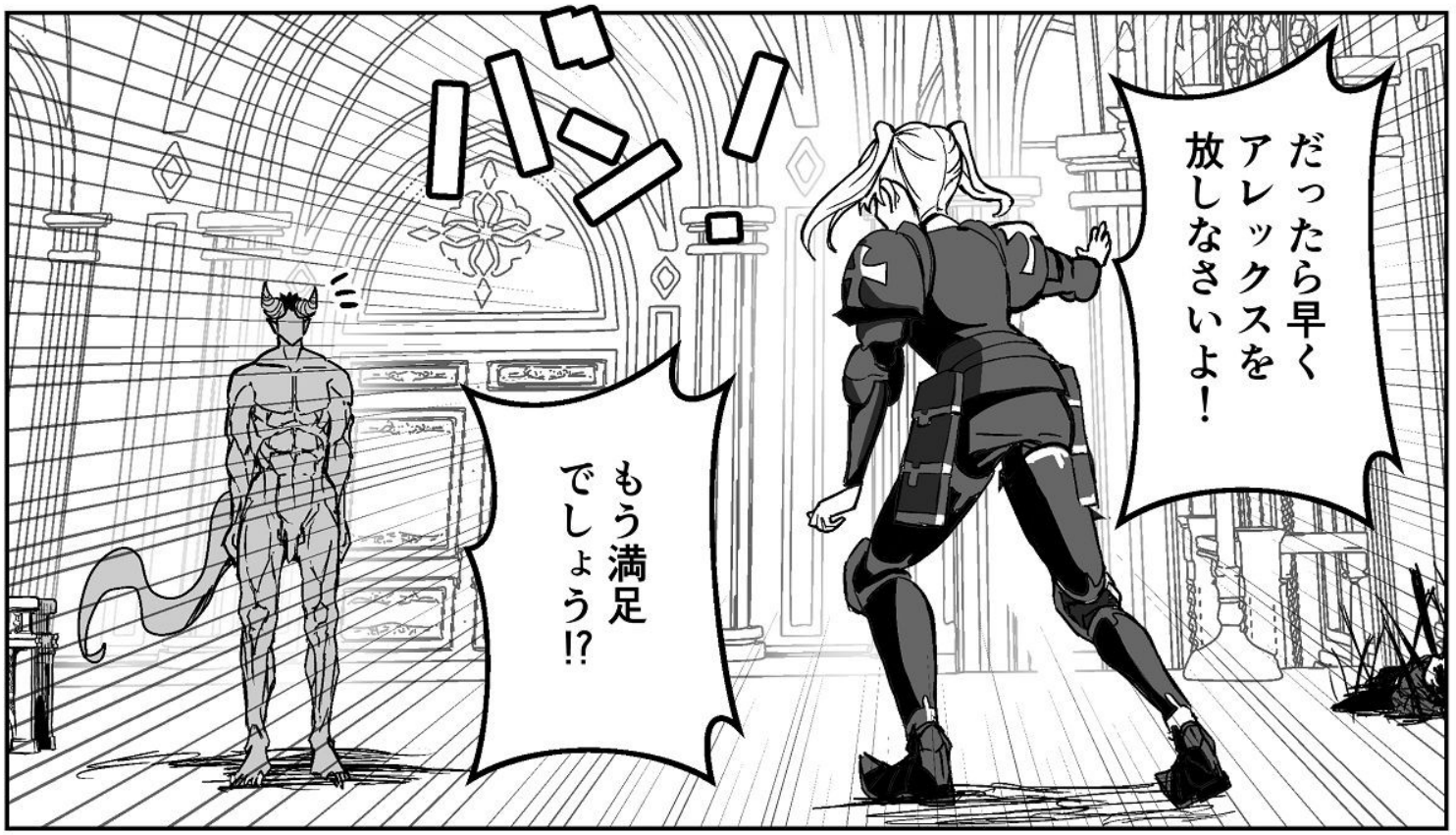

んむっ!
ニュポッ
んんっ!
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
ニュポッ
ハッ
ハッ
ハッ
グイッ
!?
ボシュン

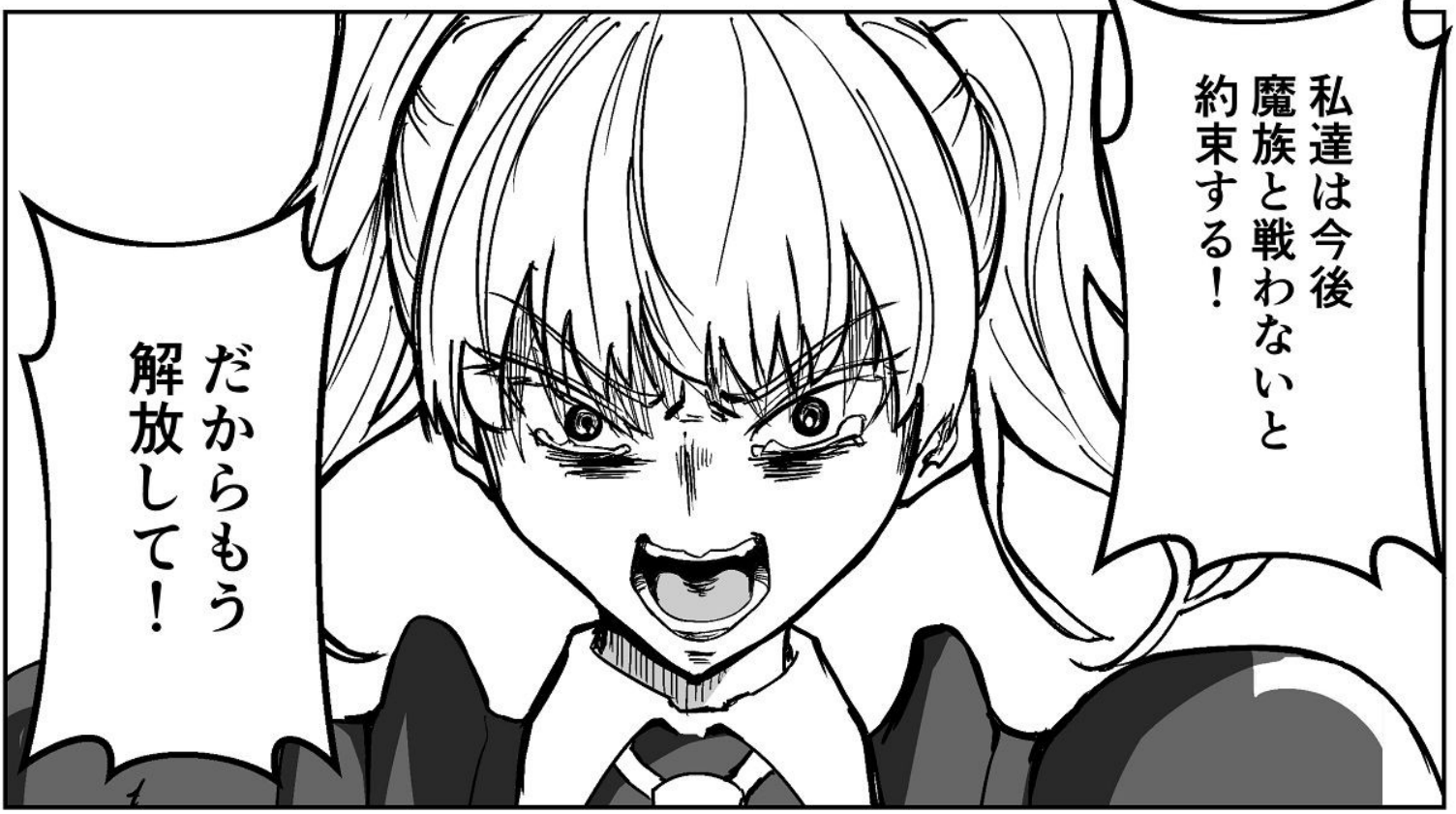

ヤメテ！
トロロ…


クリス……
ブホッ
ゴホッ
……ふむ

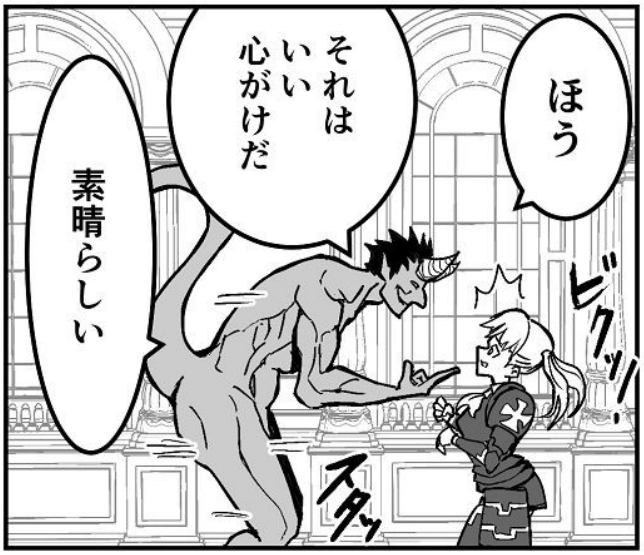

なかなか
良かったぞ
ニヤッ
何か褒美を
やっても
よいくらいだ


キッ!!


だったら早く
アレックスを
放しなさいよ!
バン!
もう満足
でしょう!?


私達は今後
魔族と戦わないと
約束する！
だからもう
解放して！

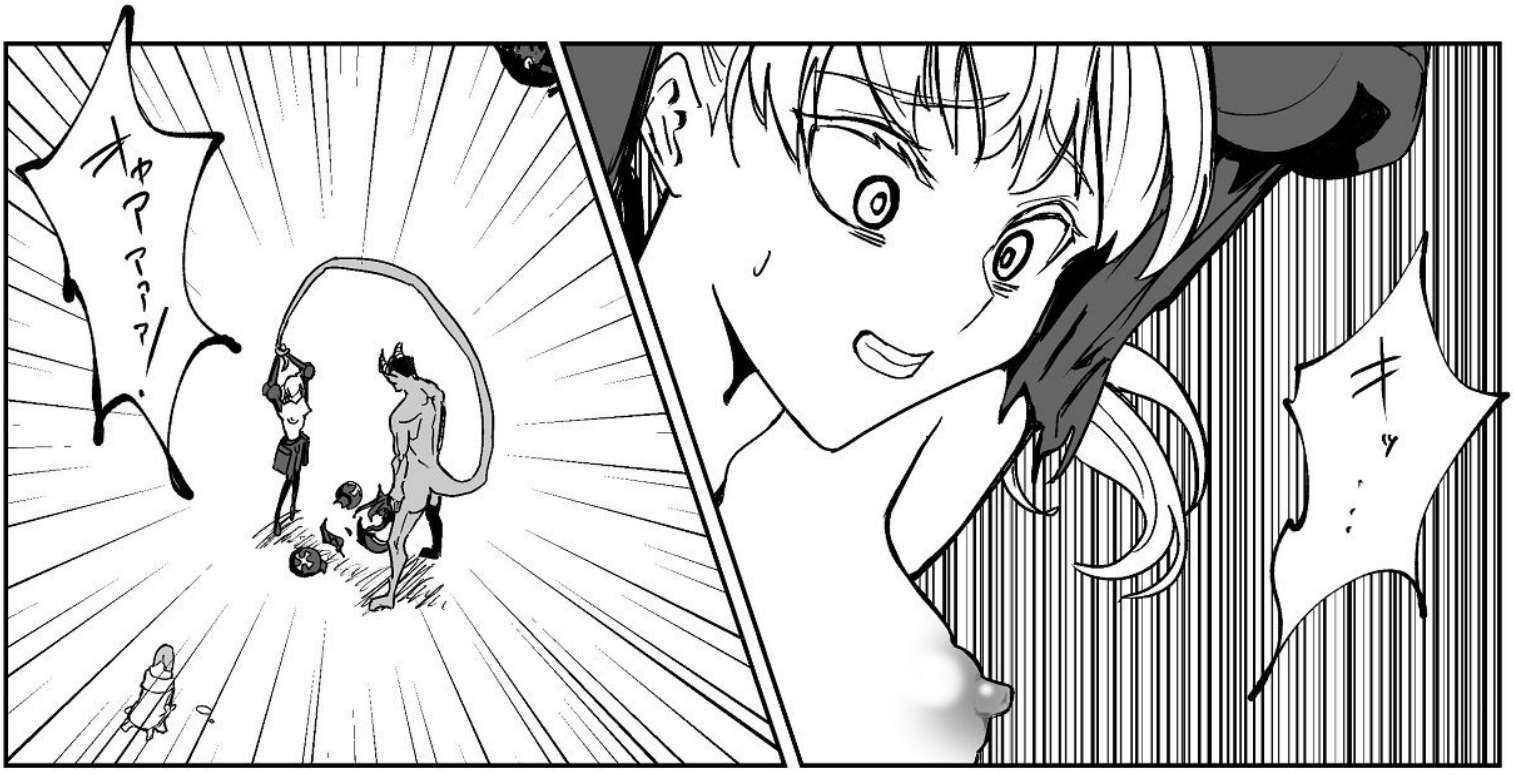

……


ほう
それは
いい
心がけだ
素晴らしい
ビクッ!!
スタッ


だが――


ヴェルッ
ビクッ!!
グイッ
!
グ…


全然足りんな
ヒロ
!?


キッ…
オァアアア!

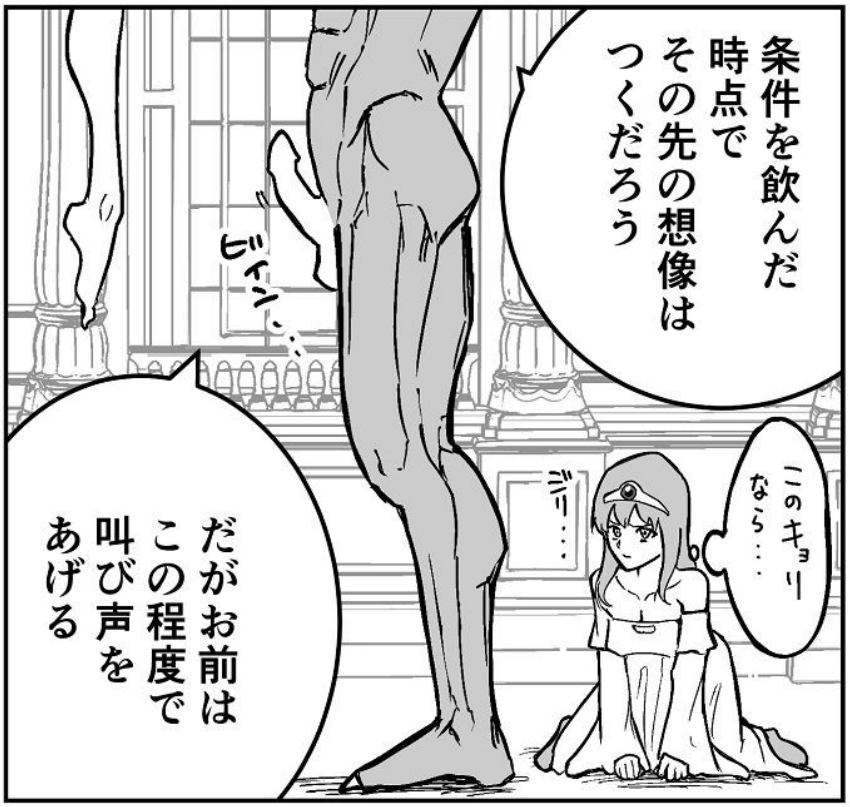

やめ……！
やめなさい……！
やめなさい！
やめてっ……！
ボロ
ボロ
……
……ふむ


いいサマだな
……
フルン…


お前
生娘だな？
ギクッ


カアア…


ニヤ…

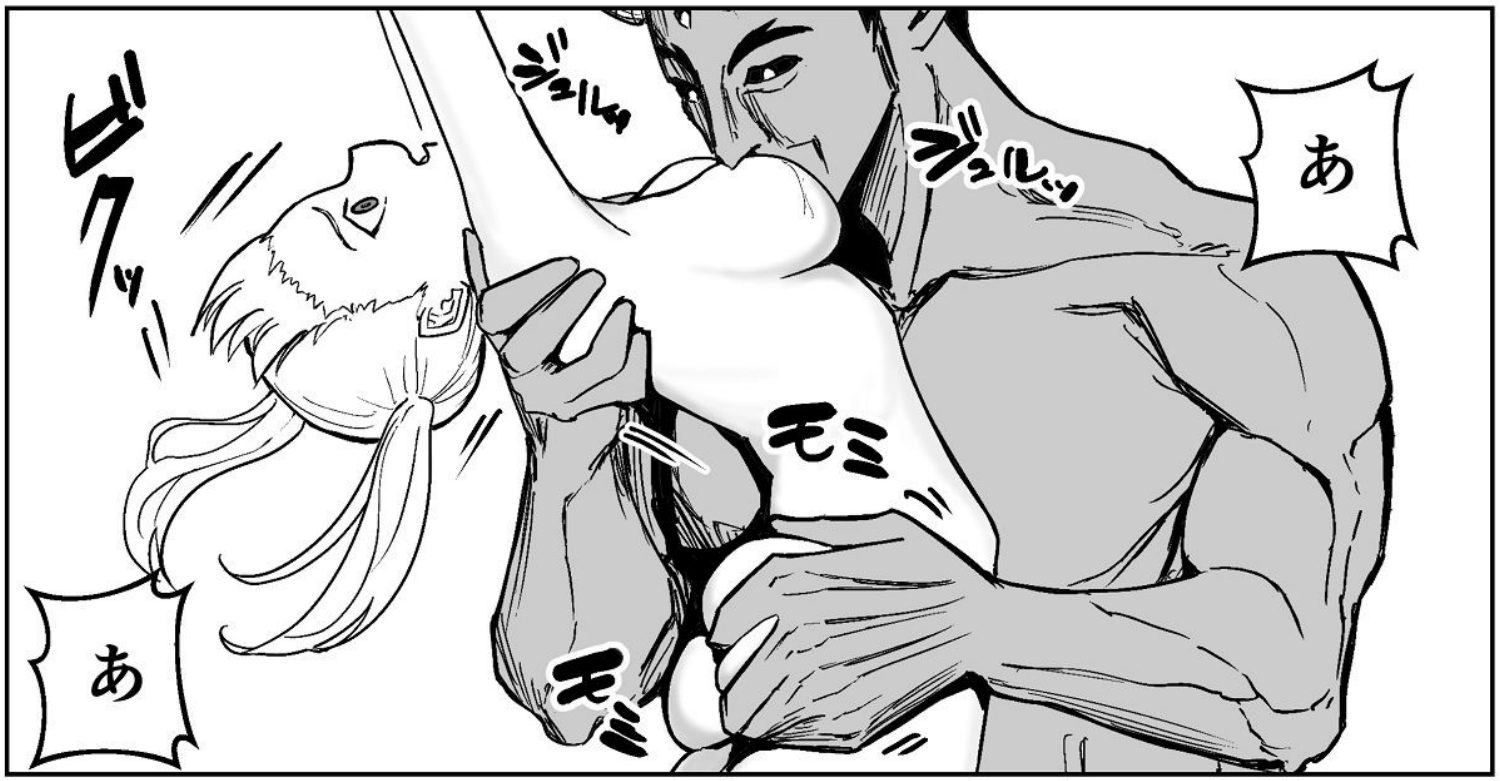

条件を飲んだ時点でその先の想像はつくだろう
ビイン…
だがお前はこの程度で叫び声をあげる
このキョリなら…
ゴリ…

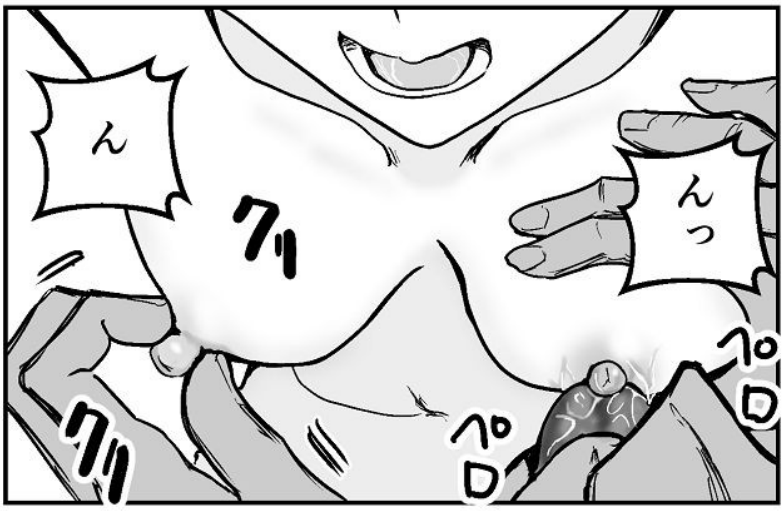

勇者との契りはまだか
いいぞ
実にいい
スッ


ではいただこうか
い
いや……

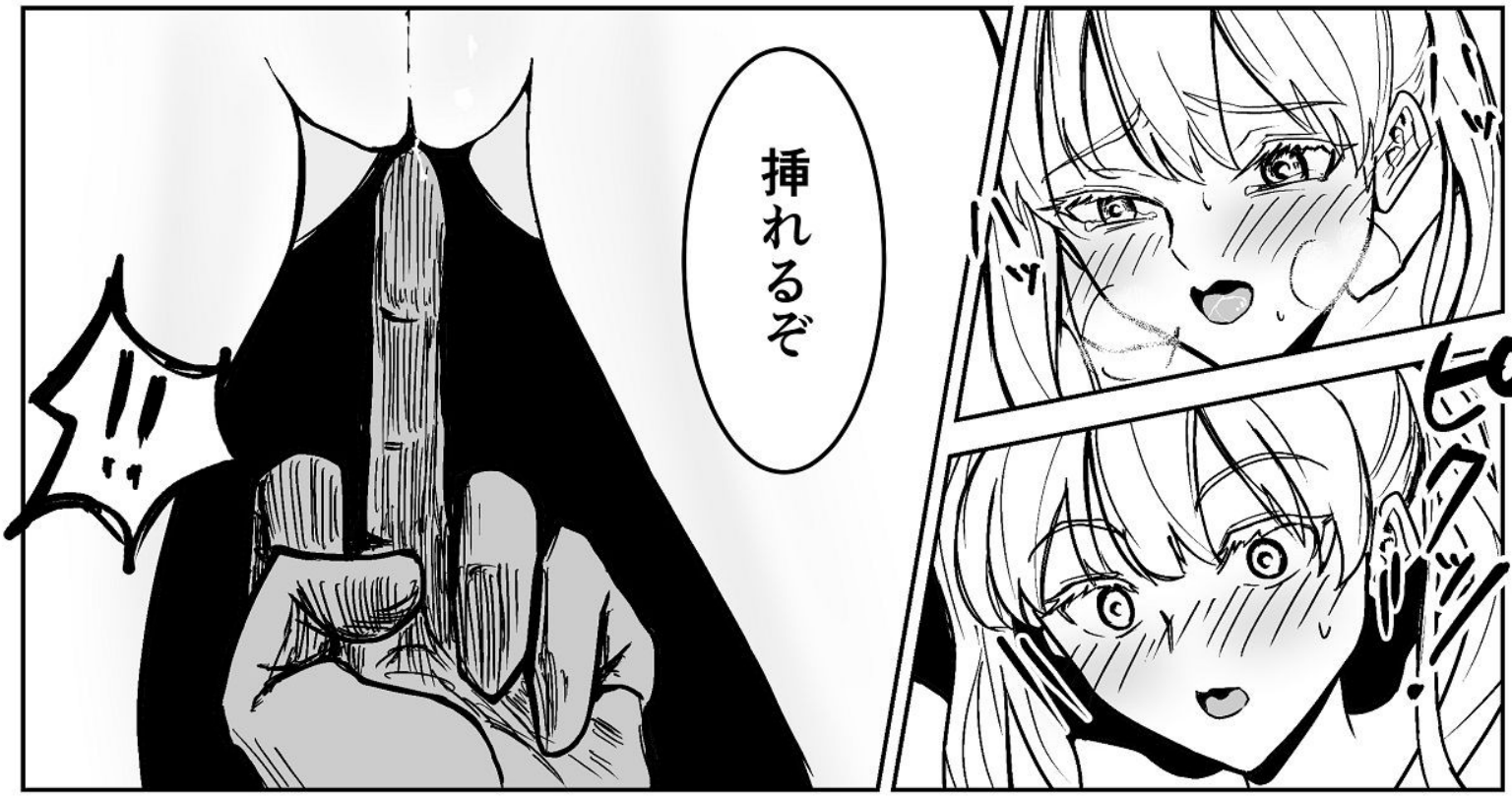

エミリーから離れなさい！
アイシクルエッジ！
オオオオ
！
おい
ギクッ
！
ドカカカカッ！
!?
ヒュッ
お前は後で相手をしてやるから待っておけ
トン…
次に邪魔だてしたら即全員殺す
いいな？
ぎり…
うっ
うぐっ…
エミリー…
ガクッ…
ごめんなさい…


邪魔が入ったな
ビクッ
では改めて
クリス……
ブ
チュッ!
舌を出せ
従わねば勇者を殺す
ポロッ…
グチュッ
ブチュ
グチュッ
ツー…
ん…
ふ…
胸は小ぶりだが触り心地は素晴らしいな
まるで絹のような滑らかさだ
モミッ
モミッ


あ
ビクッ
ブルッ
モミ
モミ
あ


ん
んっ
クリ
ペロ
ペロ
クリ


あっ
モミ
ふっ
モミ


挿れるぞ
!!
ビクッ!!


ニュプッ
あっ
ビクッ!
クチュッ
あっ
やだっ
ビクッ
グチュッ
グチュッ
ビクッ
なに!?
グチュッ!!
やだあっ!
グチュッ
あっ
あっ
グチュッ!!
……ふむ
膜がある
やはり
まだ乙女
だな
いいぞ


何がいいのよ


アアアア…！

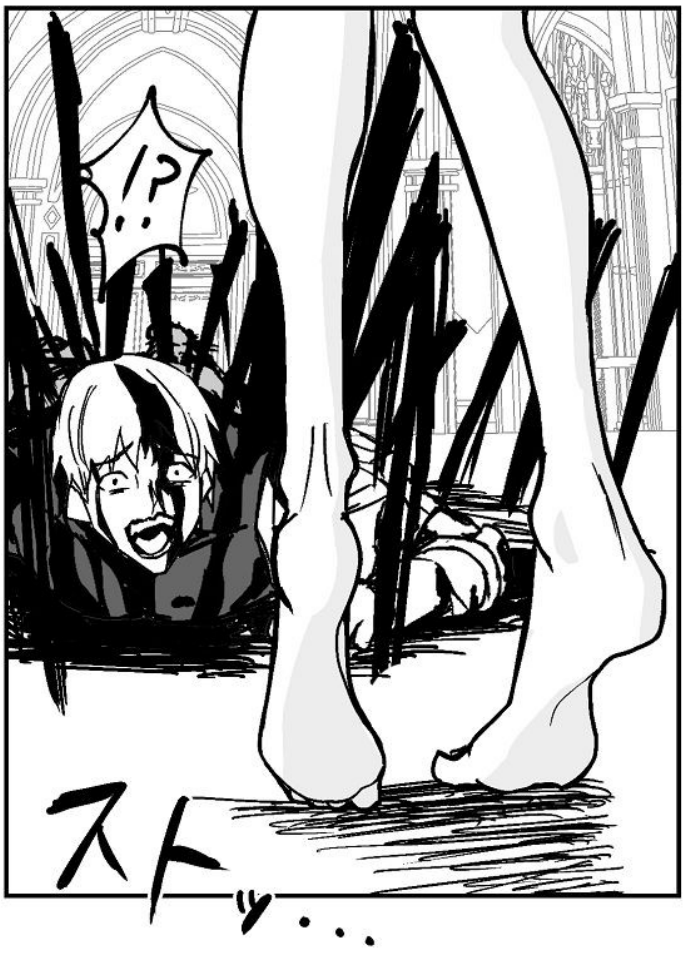

グッ
ビクッ
!?


そうか
ニヤッ…

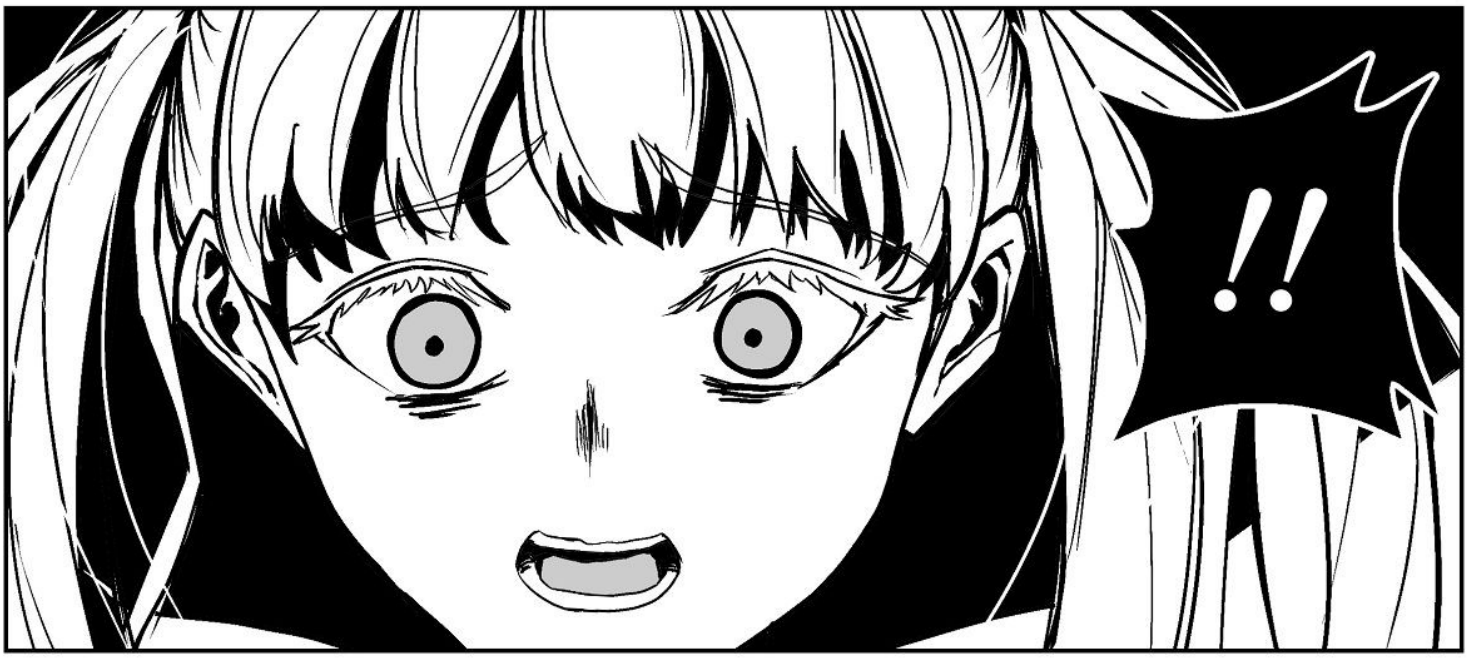

処女なんかありがたがって
気持ち悪いのよアンタ……


カツ
カツ
カツ…
それでは

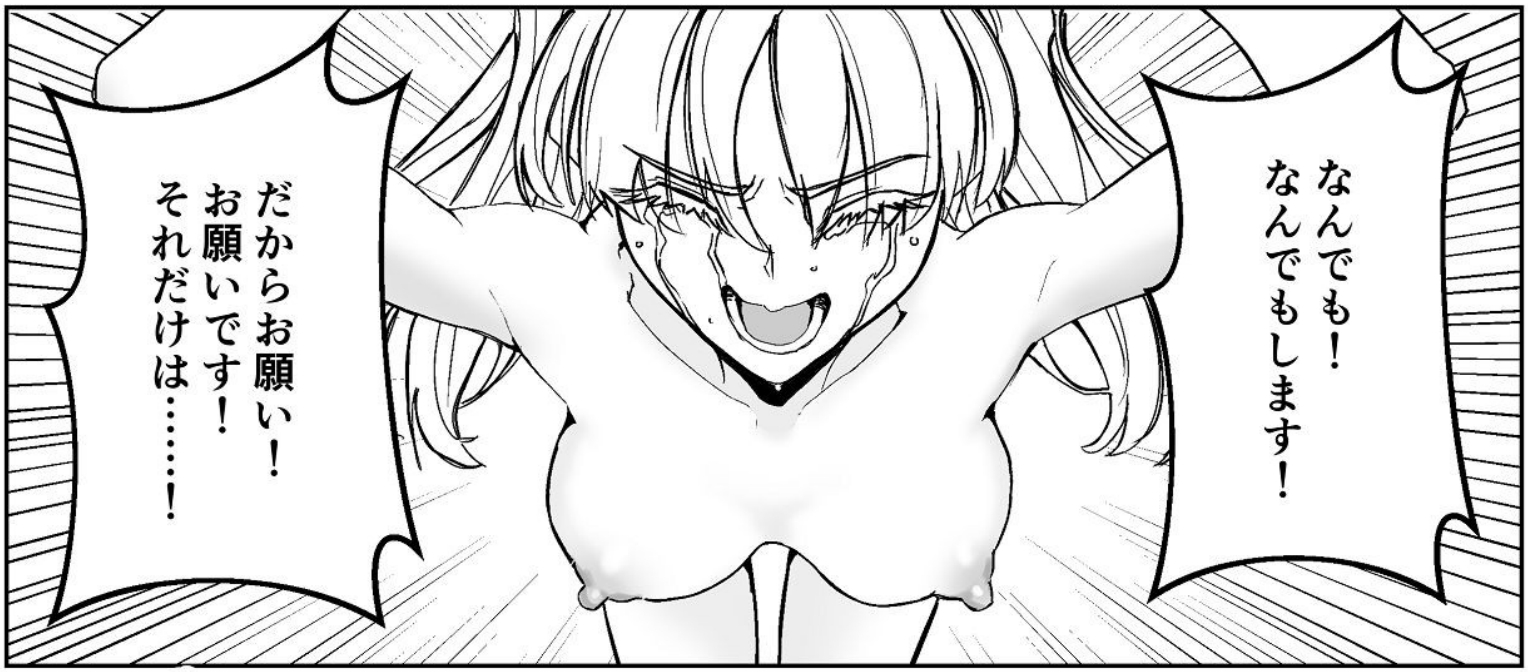

ヒヤ…


!?
ストッ…

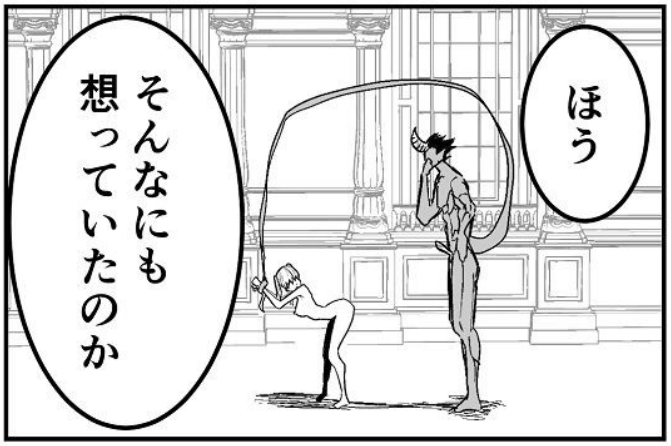

愛しの
勇者様に
処女を散らす
瞬間を見届けて
もらうとしよう

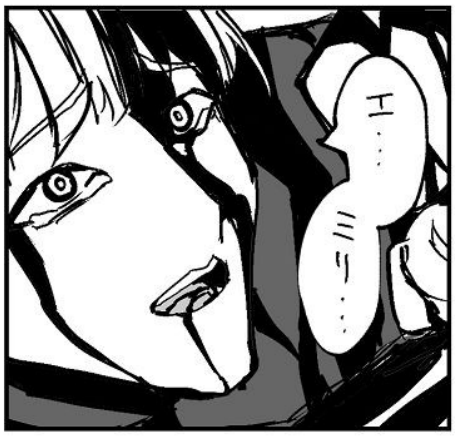

!!


え
あ
あの……
……
お願いします……
ポロ…
ポロ…
それだけは
許して……
ずっとずっと
好きだったの……
初めては
アレックスにって……
ずっと思ってたの……


なんでも！
なんでもします！
だからお願い！
お願いです！
それだけは……！


ビクッ!!

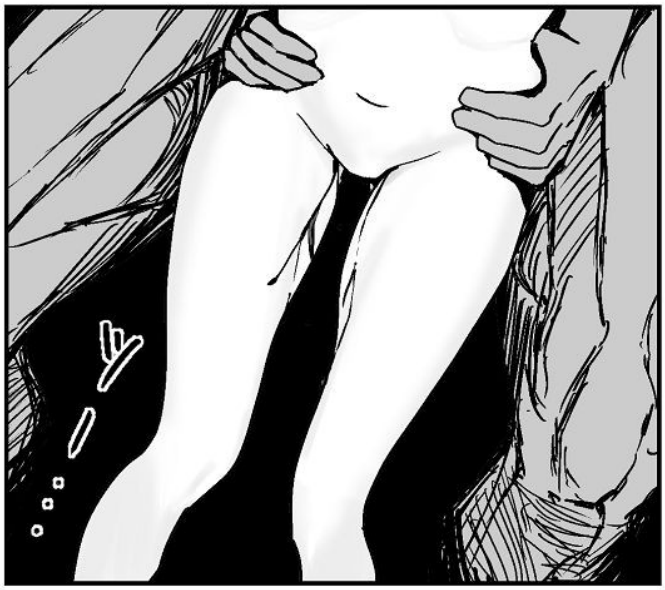

ほう
そんなにも
想っていたのか

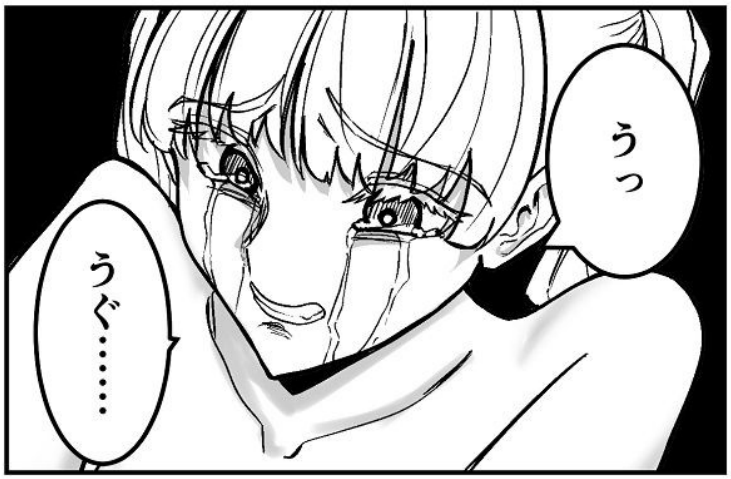

エ…
ミリ…


それは
よかった
ニュチィ…
ハッ
いやぁ…！

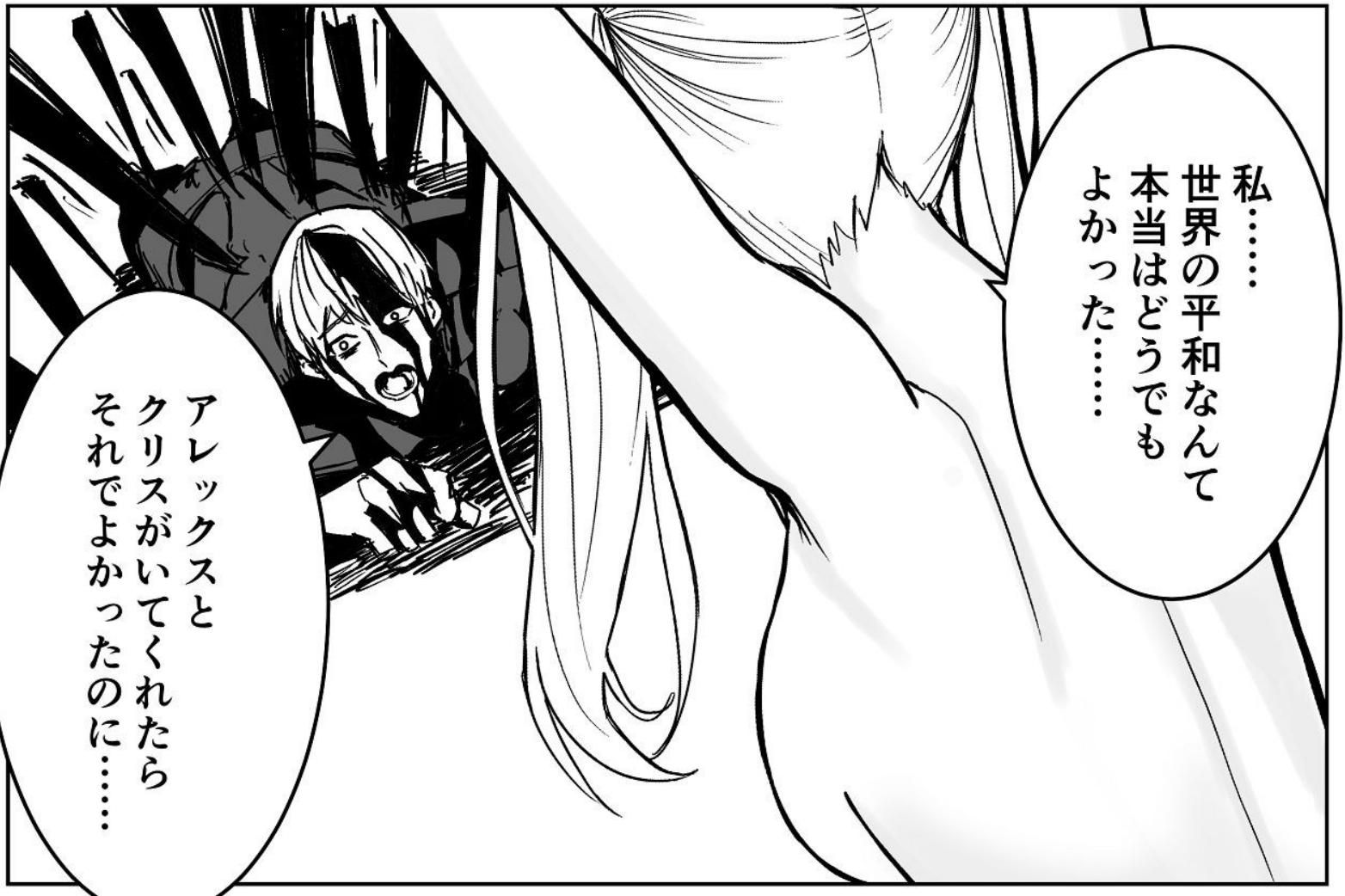

ヤ
ヤバ!!
この膜を
つらぬくことが
あっ
ポポポ!
より
味わい深く
なるからなぁ……!
あぁっ…!


どうだ
想い人の前で
犯された
気分は？



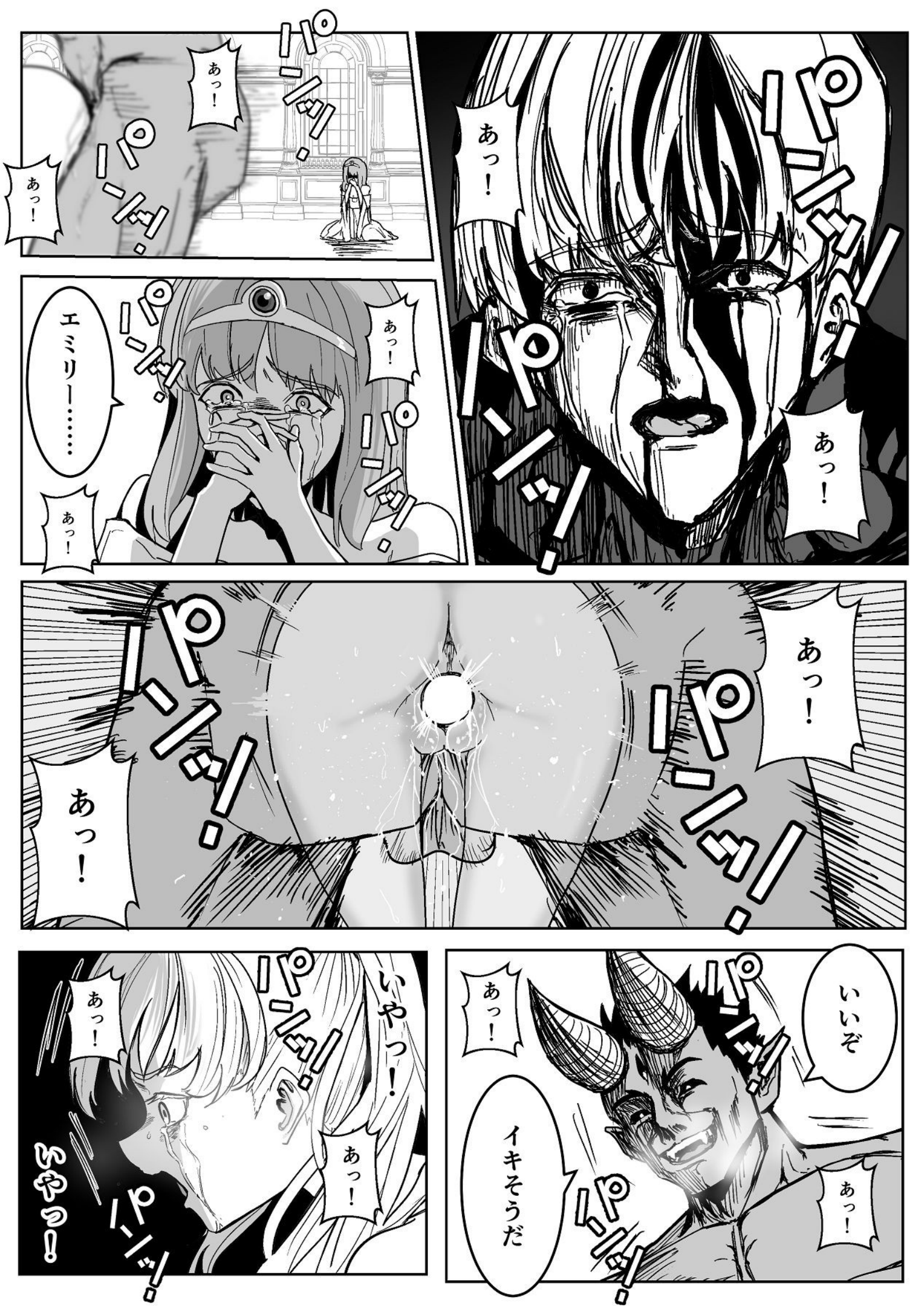

うっ
うぐ……


も……
やだ……
なんで
こんなことに……


私……
世界の平和なんて
本当はどうでも
よかった……
アレックスと
クリスがいてくれたら
それでよかったのに……


あっ！
あっ！

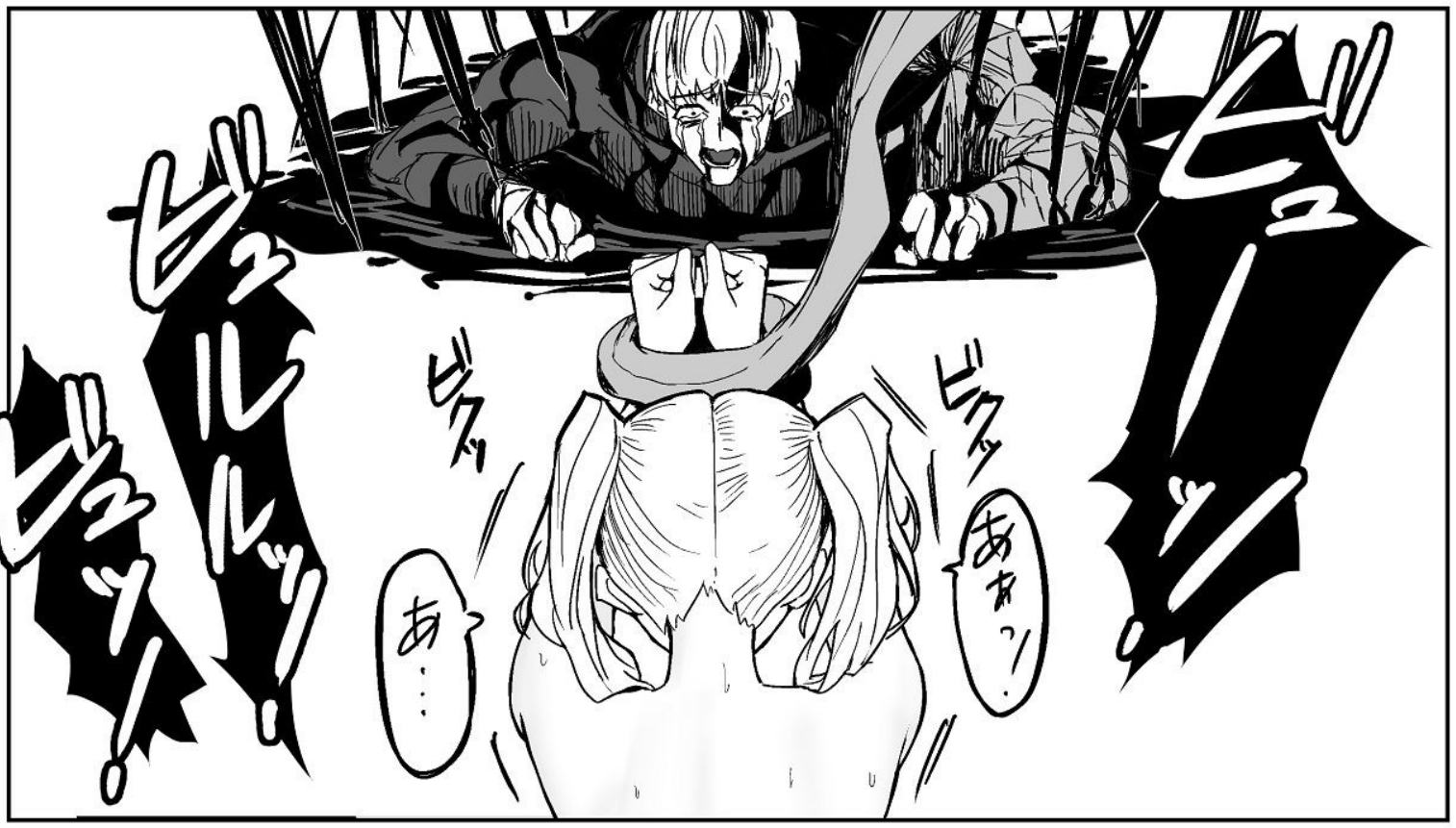

あっ！
パーン！
あっ！
パーン！
あっ！
パーン！


パーン！
あっ！
パーン！
あっ！
パーン！
あっ！
パーン！
あっ！
エミリー……
パーン！
あっ！
パーン！
あっ！
パーン！
あっ！
いいぞ
パーン！
あっ！
イキそうだ
パーン！
あっ！
いやっ！
パーン！
あっ！
いやっ！


いや！
あっ！
チュッ
チュッ
いや！
あっ！
チュッ
チュッ
いや！
あっ！
チュッ
チュッ
いやぁっ！


ア
アレッ
パ
パン
パン!
パン!
パン!
パン!
アレックス……
!
お願い
パン!
パン!
……!
見ないで……


イヤ
あ…
あぁ…！
ダメ！！

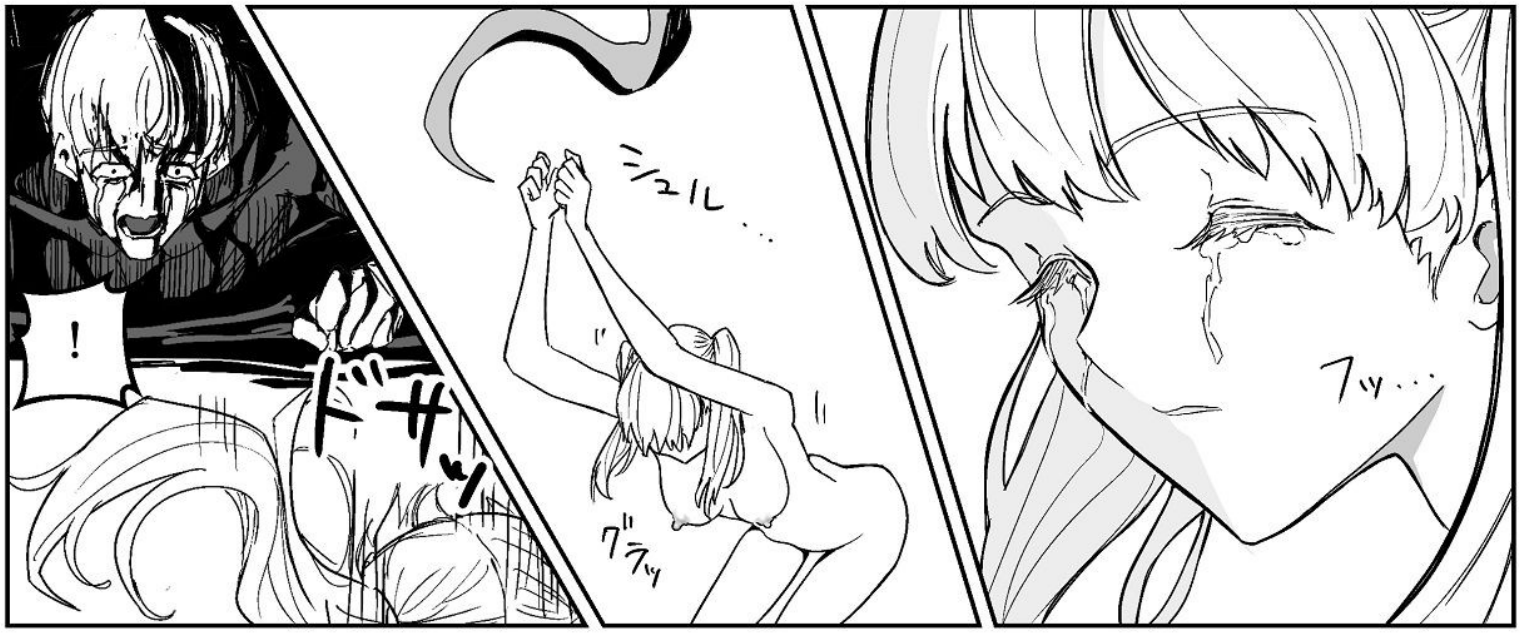

ビュルルッ！
ビュルルッ！
ビュッ！
ビクッ
あ…
ビクッ
あぁっ！


ビュルルッ！
あ……
あぁ…
ビュルッ


ビュッ！
ビュルッ！

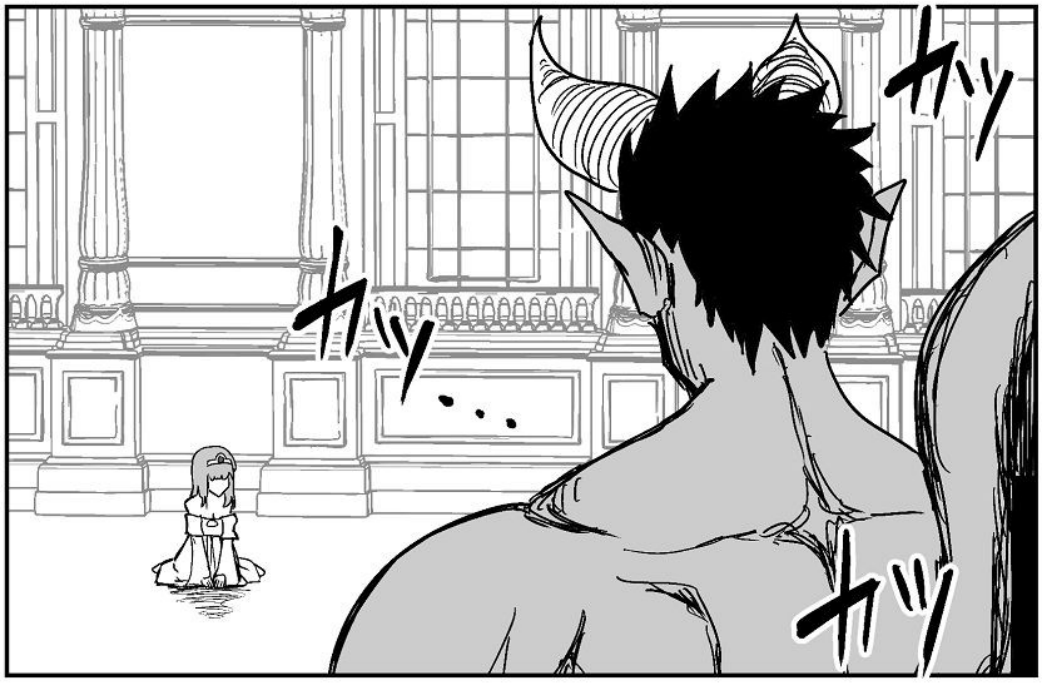

ヌプッ…

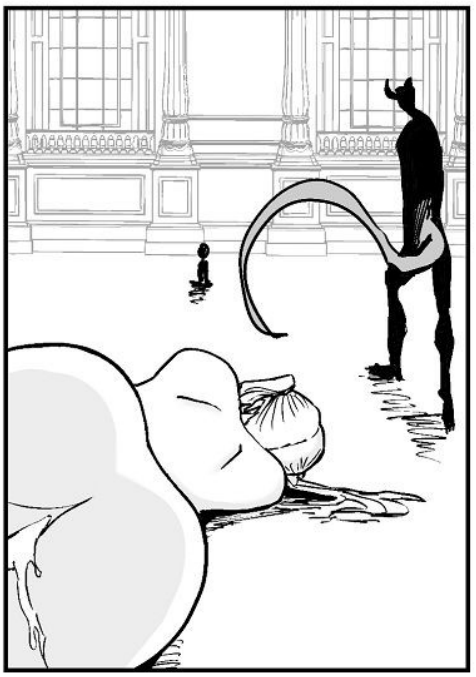

ビュッ…
ビュ…

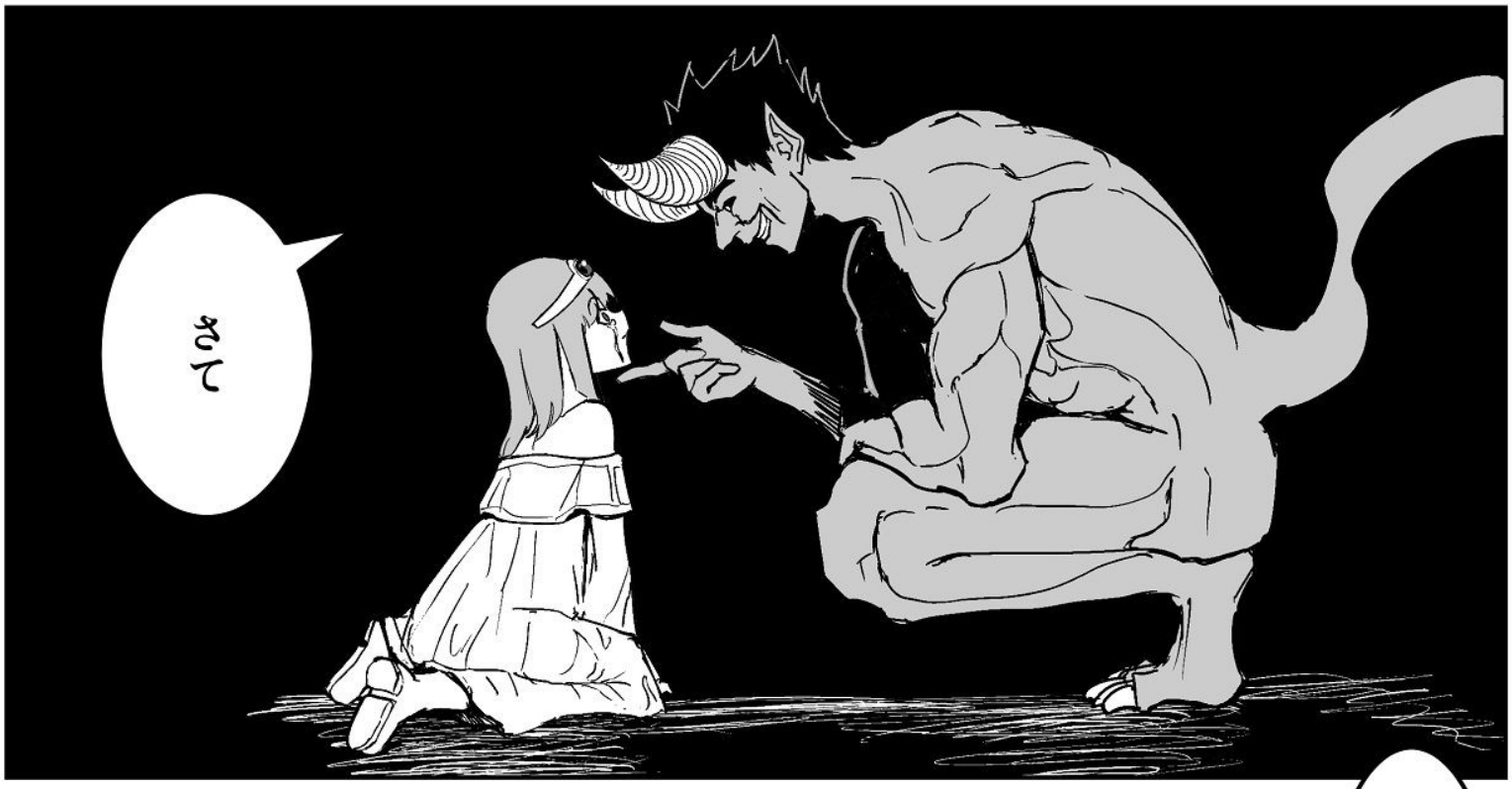

！
ドサッ
シュル…
グラッ
フッ…


エ…
エニ!!…
ドプ♡
ドプ…
ドロォ…

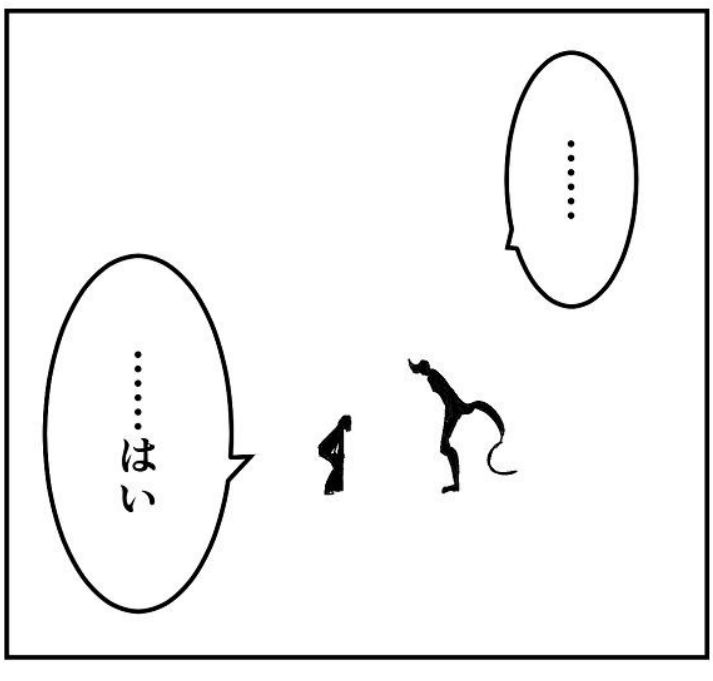

勇者よ
エミリーは
実に良い
具合だったぞ
シュルッ
！
肌はすべらかで
柔らかく
膣内は狭く
搾り取られたわ
グイッ
ここに連れて
来たこと
感謝してやる
ははははは！
ははははは
ははは！
エ…
エミリ…

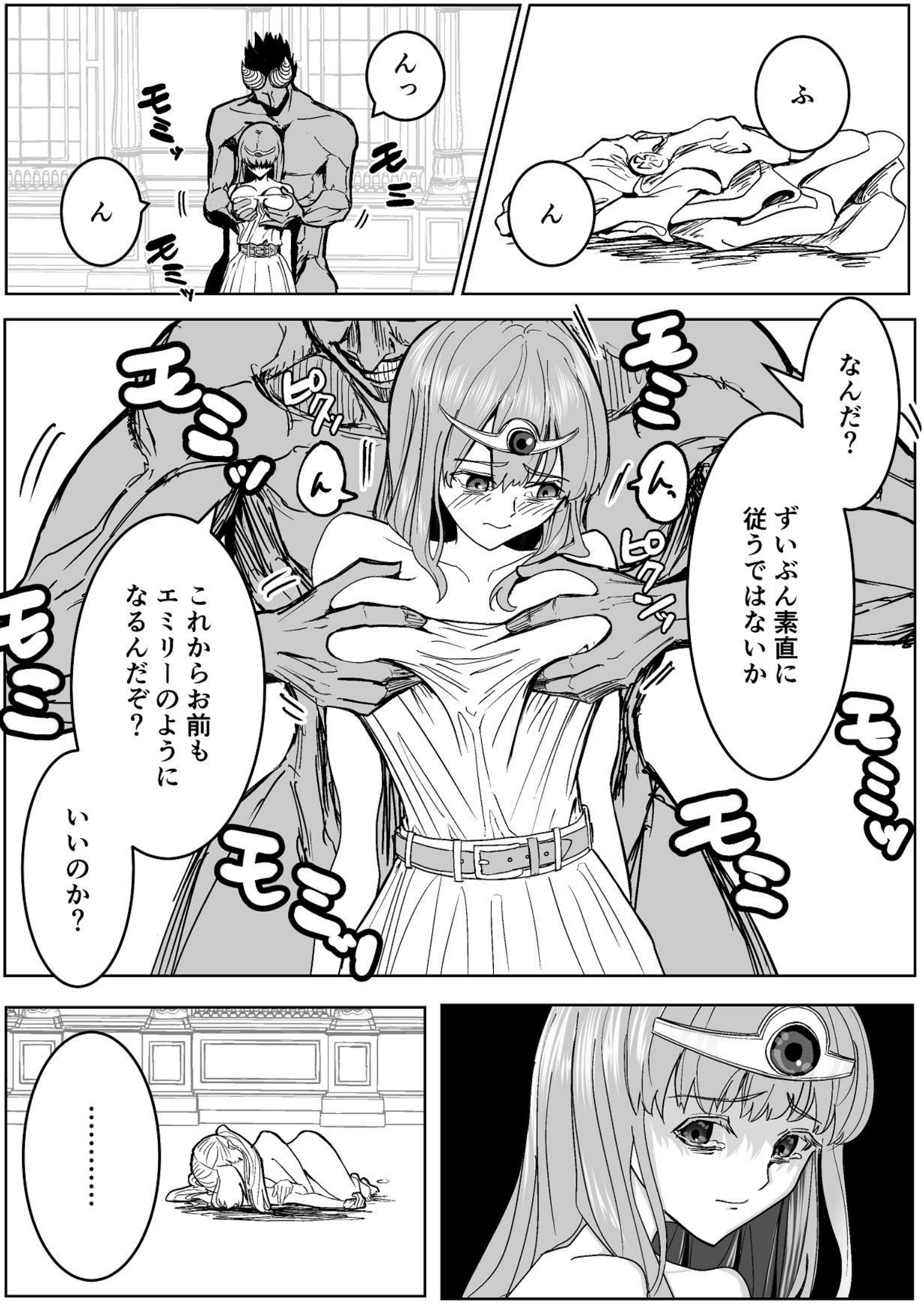

カッ
カッ
カッ




さて


次はお前だ
立て

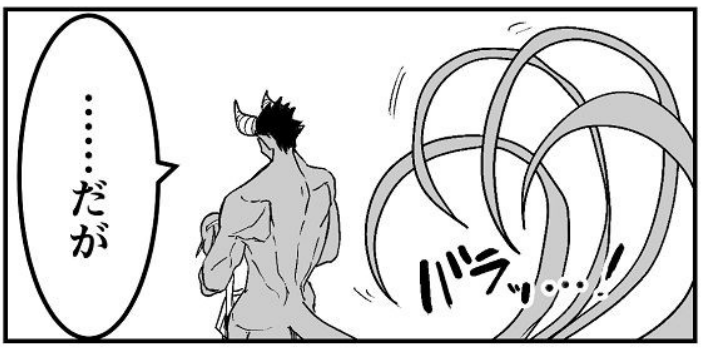

……
……はい

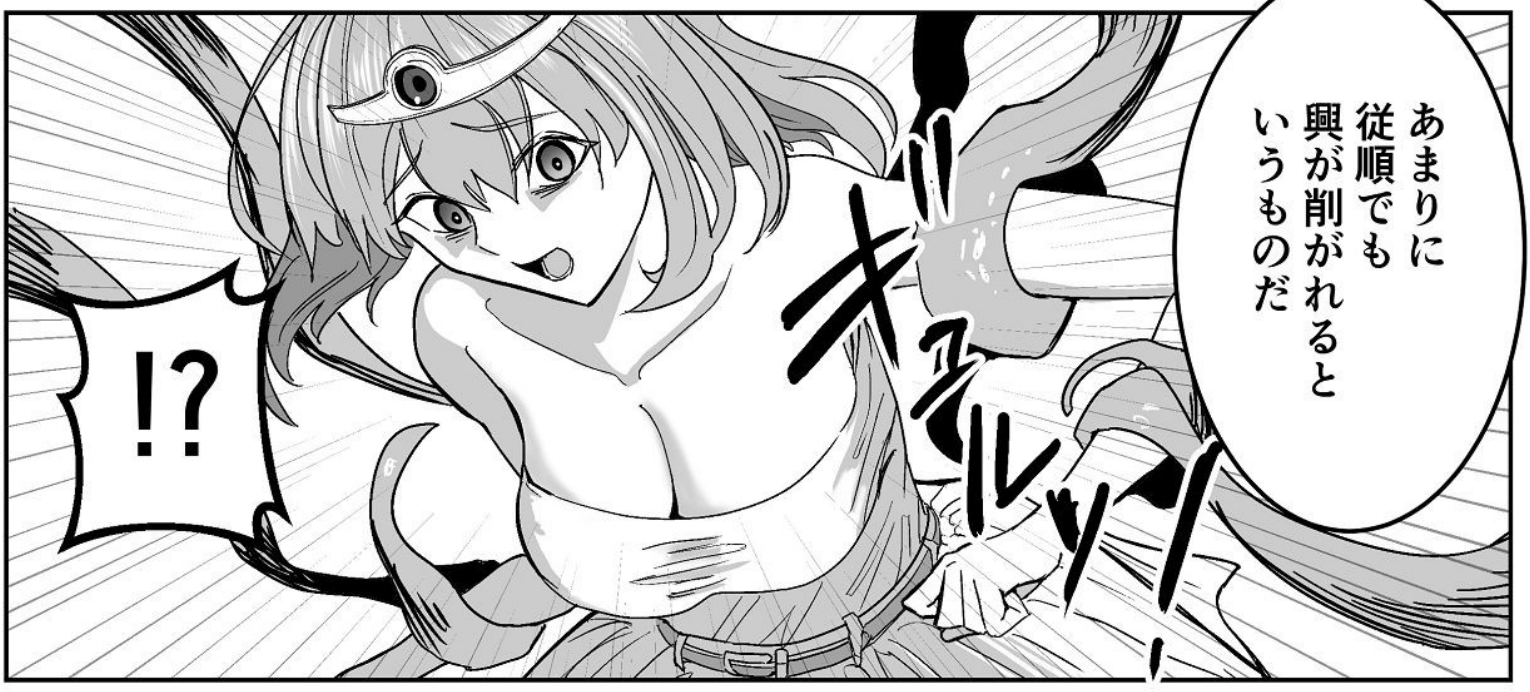

ふ
ん
んっ
モミッ
モミッ
ん
モミッ
なんだ？
ずいぶん素直に
従うではないか
モミッ
ピクッ
ん
ピクッ
モミッ
モミッ
モミッ
これからお前も
エミリーのように
なるんだぞ？
いいのか？
……


エミリーが
ひどい目に
あってたのに
モミ
ピクッ
モミ
私は見てる
ことしか
できなかった……
モミ

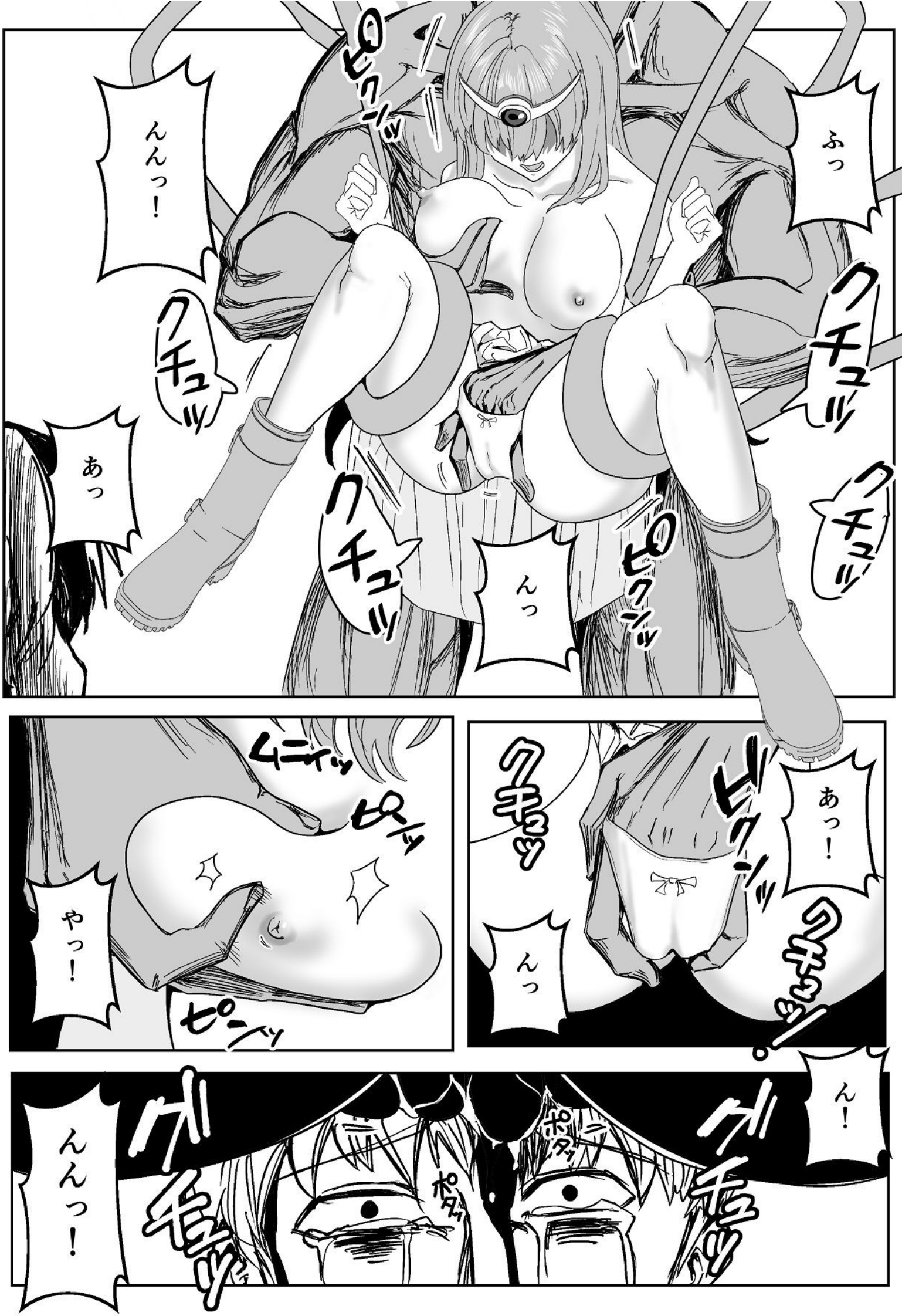

今さら
私だけ
助かろうなんて
思わない……

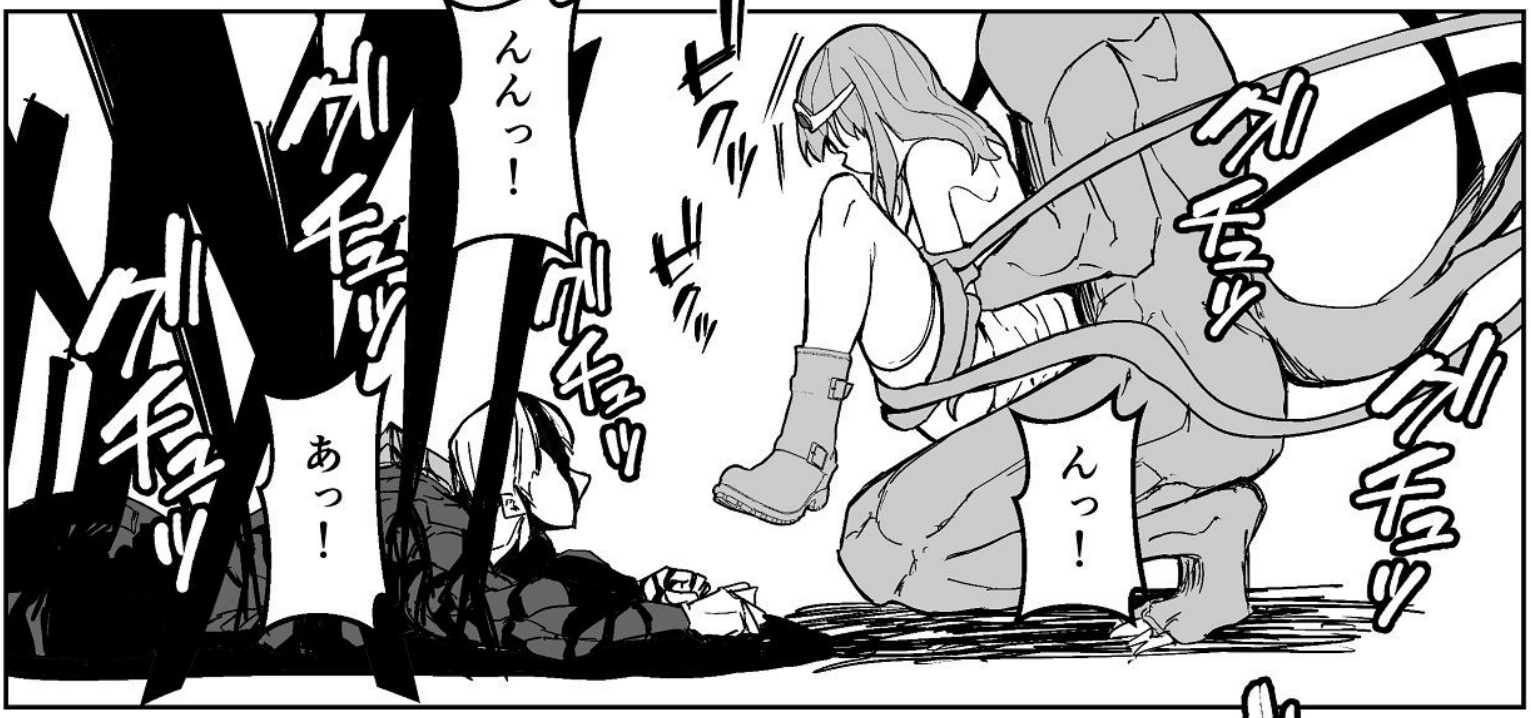

グブブ…
そうか


……だが
バラッ…!


あまりに
従順でも
興が削がれると
いうものだ
キュルッ!
!?


さて
芸がなくて
恐縮だが
グラッ…
!?
ビクッ
…!
また勇者の
前で
痴態を晒して
もらうとするか
パカッ♡


ふっ
ピクーッ
んんっ！
クチュッ
クチュッ
あっ
クチュッ
ピクーッ
んっ
クチュッ
あっ！
ビクーッ
クチュッ
んっ
ムニィッ
ピーッ
やっ！
ピーッ
ん！
クチュッ
ポタッ
ポタッ
クチュッ
んんっ！


ヴィィィ
ヴィィィ
ヴィィィ
ヴィィィ
ヴィィィ
んっ！
あっ！
んんっ！

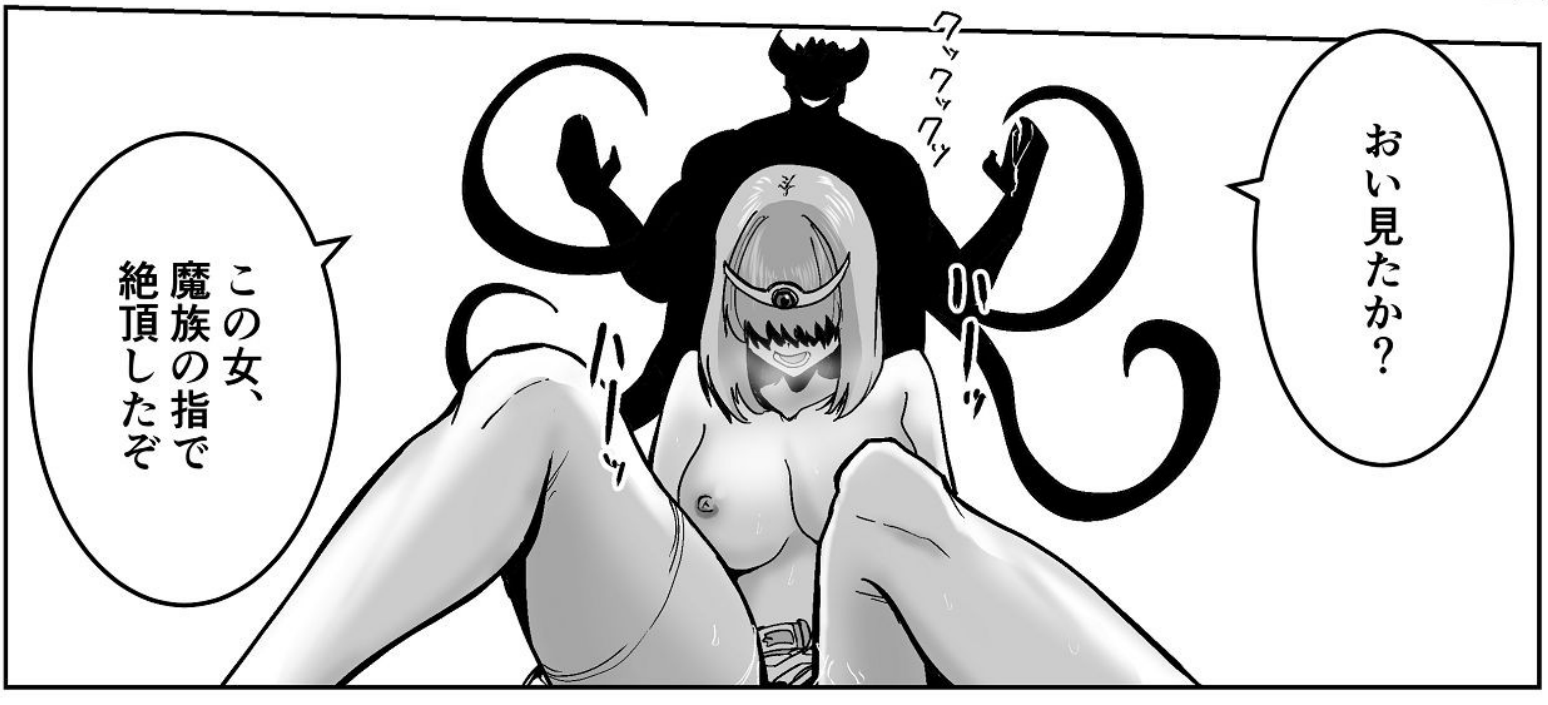

ヴィィィ
ヴィィィ
あっ！
あっ！

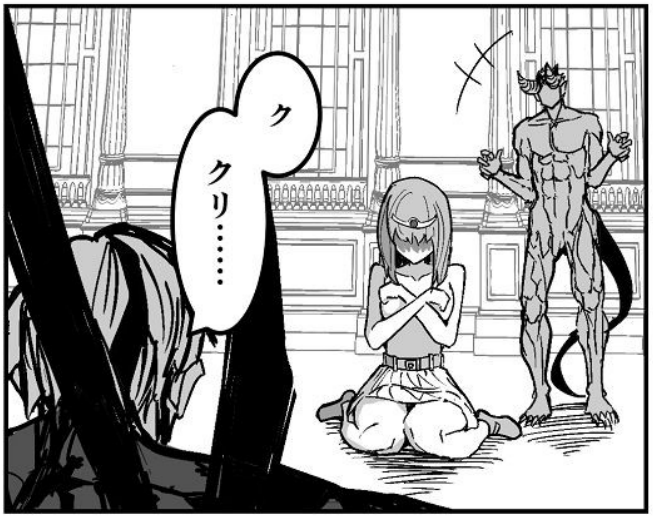

……
おい


お前
感じてるんじゃないか？


愛液がしたたって下着から溢れてくるぞ
……！
膜もない
お前は何度も男と寝たことがあるな？
ハッ…
ハッ…
おい勇者よ残念だったな
んっ！
この女は他にも想い人がいるようだぞ
んっ！
グチュッ
やっ
いやっ……！

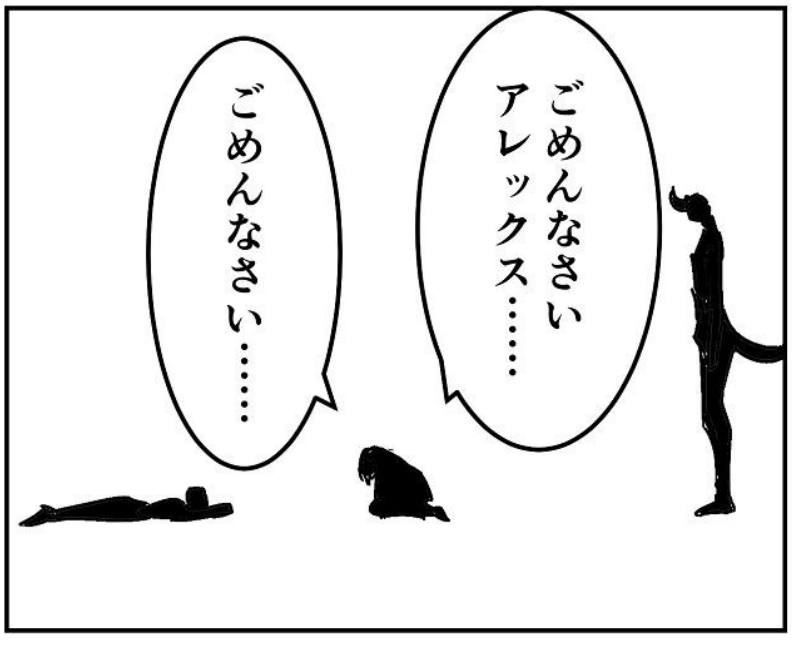

ビクッ!!
ああっ!!
ハァハァ…
ポタ
ポタ…
ニヤ…

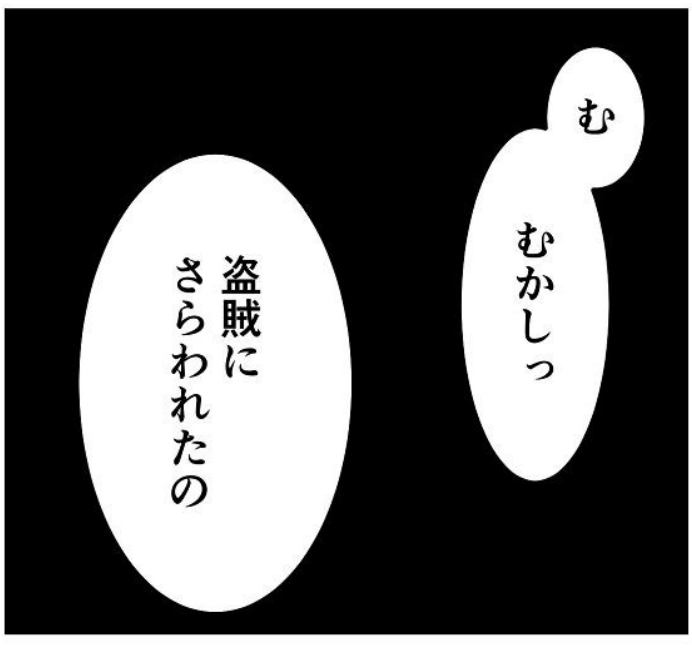

おい見たか？
クックックッ
この女、
魔族の指で
絶頂したぞ


クリ……

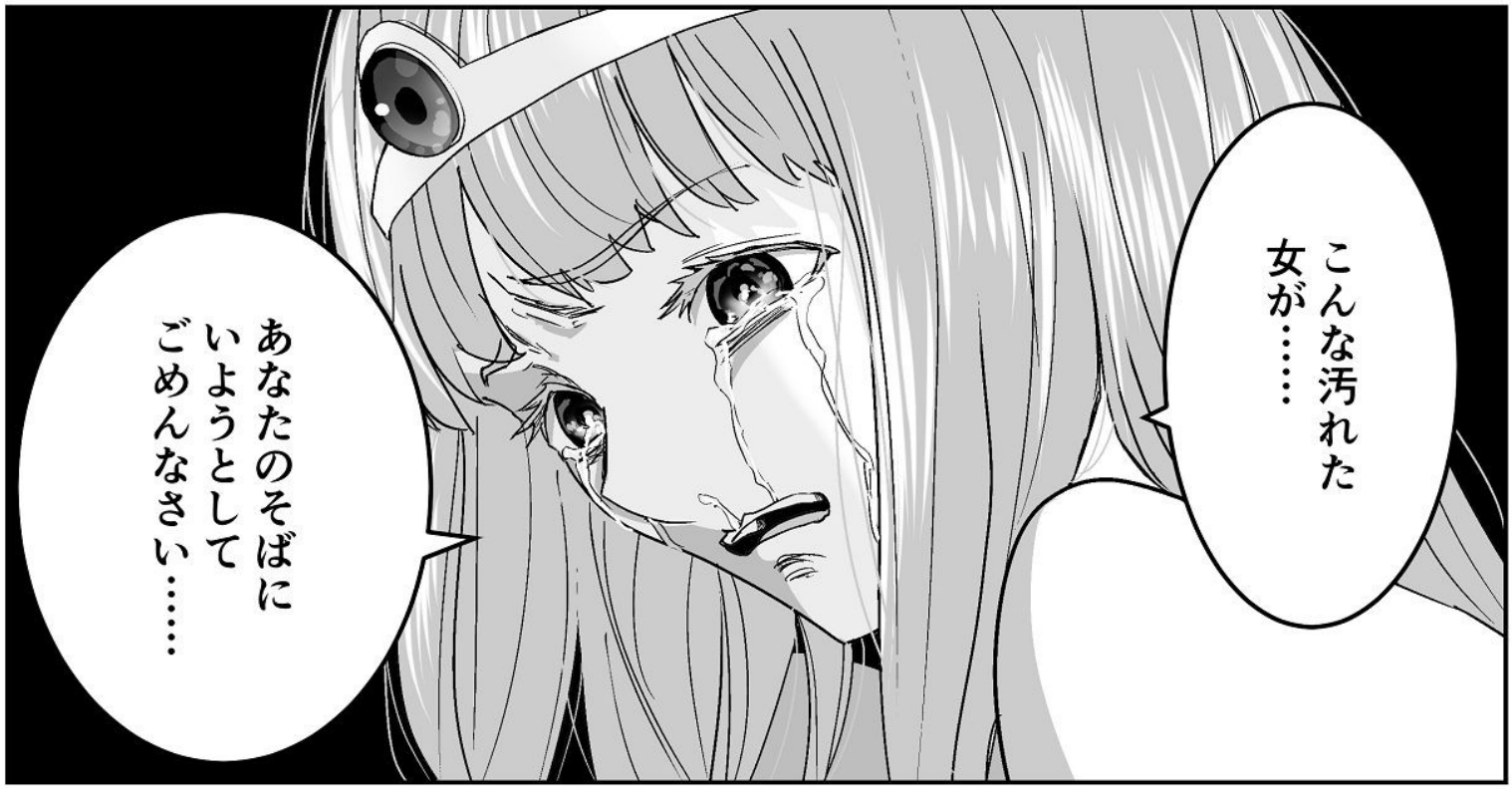

とんだ淫乱が
勇者と共に
旅をしていた
ものだなぁ
ヒトとして
恥ずかしく
ないのか？
クックックッ


うっ
ボロッ
うぅっ……！
ボロッ


ごめんなさい
アレックス……
ごめんなさい……

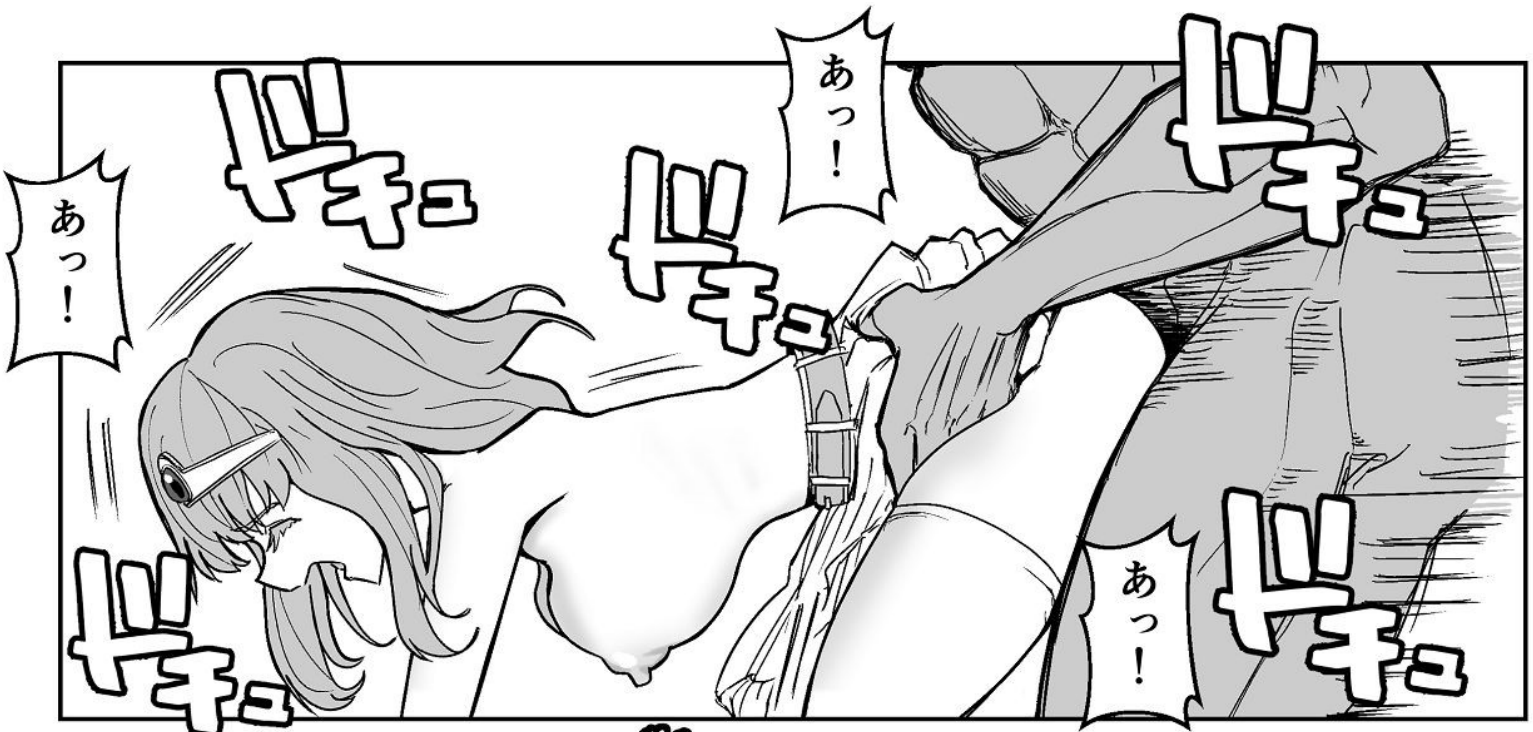

む
むかしっ
盗賊に
さらわれたの


助けられるまで
ずっと……
されてて……
嫌だった！
嫌だったの！
でも……
やっ！
いやぁ…
生きて帰れるかも
分からなくて……
心が壊れちゃい
そうで……！
思いこもうとしたの！
私は望んでここに
いるんだって！
つらいことなんて
ないんだって！


こんな汚れた
女が……
あなたのそばに
いようとして
ごめんなさい……


クリ……
だいじょ……
グッ
ズッ！
あっ
！
あっ
あぁ…


なかなか
良かったぞ
勇者に
気に入られようと
暗い過去を
隠してここまで
来たのだな
あ…
あぁ…
認めてやろう
お前の想いの
尊さをな
認めるからこそ
踏みにじる
楽しみが
味わえるというもの
フッ
思いが
上等なほど
良い
女を汚すのは
この瞬間が
たまらんのだ
フッ
では
始めよう
んっ


あっ！
あっ！
あっ！
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ


あっ！
あっ！
あっ！
あっ！
ブルンッ
ブルンッ


あっ！
あっ！
あっ！
チュンッ！
チュンッ！
チュンッ！
チュンッ！
チュンッ！


グチュッ
ビクッ
んむっ!!
んっ
グチュッ
グチュッ
んむっ
はっ
レロッ
レロッ
はっ
あ……
お前の身体は
柔らかくて
心地いいな
ハーッ
ハーッ
ビクンッ
ビクンッ
モミッ
モミッ
抱いていて
飽きんぞ


あっ！
ニュポッ
ヒクンッ
ニュポッ
ヒクンッ
ニュポッ
あっ！
あっ！
ニュポッ
あっ！
ダメ！
ダメ！
あっ！
ハッ
ハッ
嫌なのに！
感じたくないのに……！
あっ！


あっ！
あっ！
あっ！
あっ！
あっ！
あっ！
レロッ
あっ！
あっ！
あっ！
あっ！


なんで……
あの時の
記憶が……
あっ！
あぁ！
あっ！
ああっ！
おっ？
しめつけが
きつく
なってきたぞ
んんっ！
イキそう
なのか？

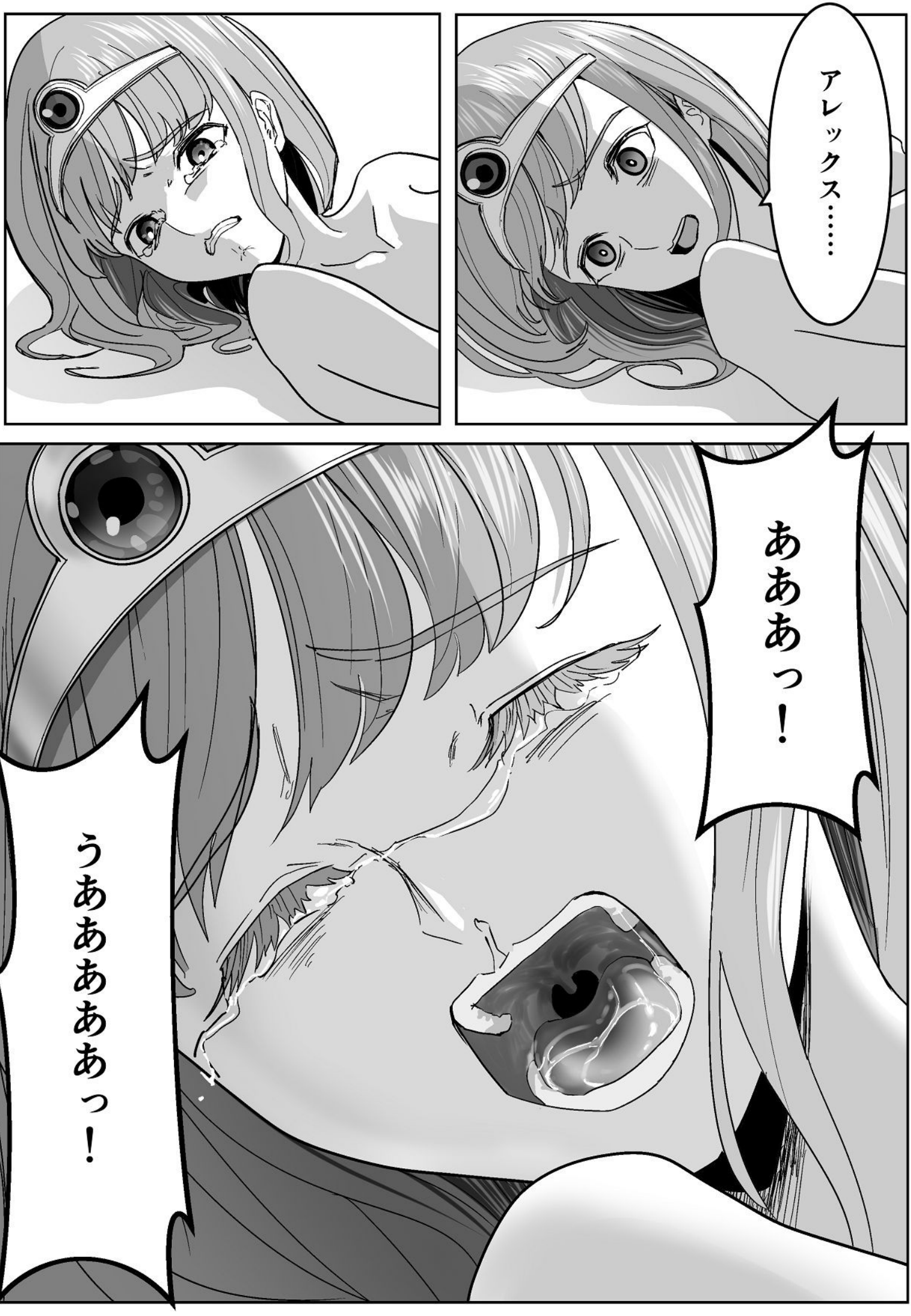

イク時はちゃんと言うんだぞ？
いやっ！
チュッ
あうっ
んうっ
イキたくない！
イキたくない……！
チュッ
チュッ
ヒクッ
あっ！
チュッ
あっ！
チュッ
チュッ
チュッ
あっ！


突くたびに締めつけてきおって！
我もそろそろイキそうだ！
嫌なのに……！
あっ
もう……ダメ……！
イク時はちゃんと言わないと……
あ…んっ
また叩かれちゃう……

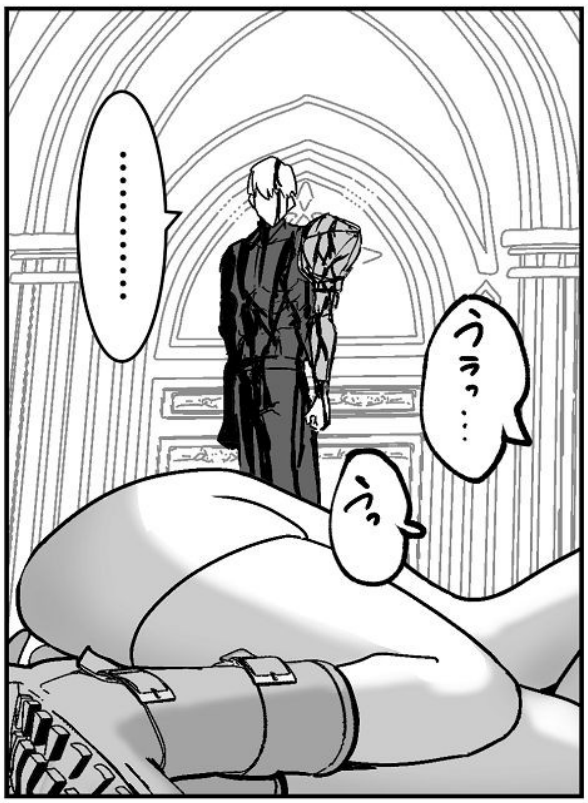

ご主人様ぃ
ぴゅっ!!


ビュルルッ!
ビュッ!
ビュッ!
ビュッ!
ビュッ!
ビュッ!
ビュルルッ!
ビュッ!
クッ…
クリス…!
クックック
スッ
ジョバッ
「ご主人様」か……

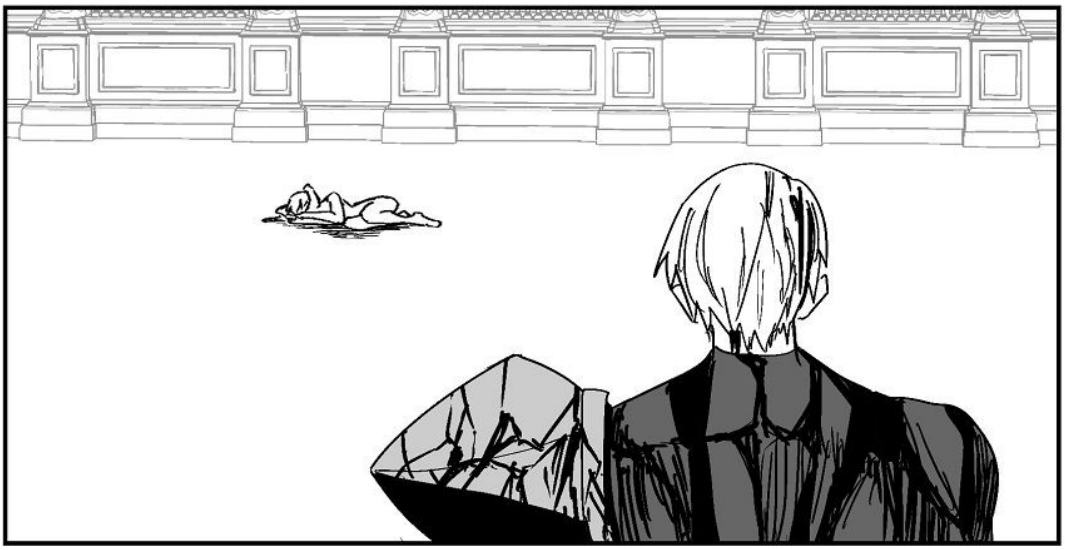

盗賊どもに言わされていたのか？
ハッ！
ハッ！
ハッ！
ヂョロロロ……
なかなか良かったぞクリス
ハッ！
ハッ！


アレックス……
ああああっ！
うあああああっ！

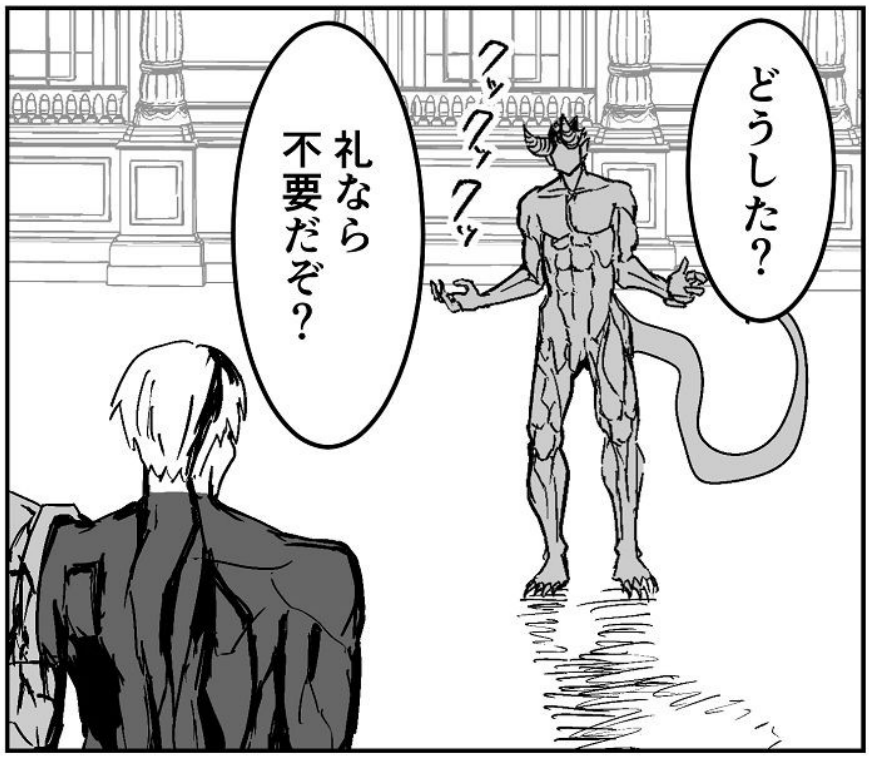

うあぁぁぁっ！
あぁ……！
おい
勇者よ
うぅ…
魔族は契約に忠実だ
約束通り自由にしてやる
スッ
！


……
うぅっ…
うっ


ほう
すぐに立てるか
さすがは勇者といったところだな





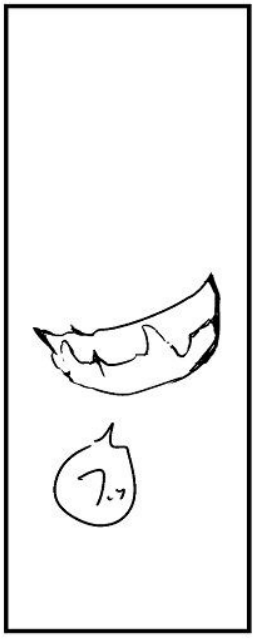

どうした？
クックックッ
礼なら不要だぞ？


……


死ねっ！

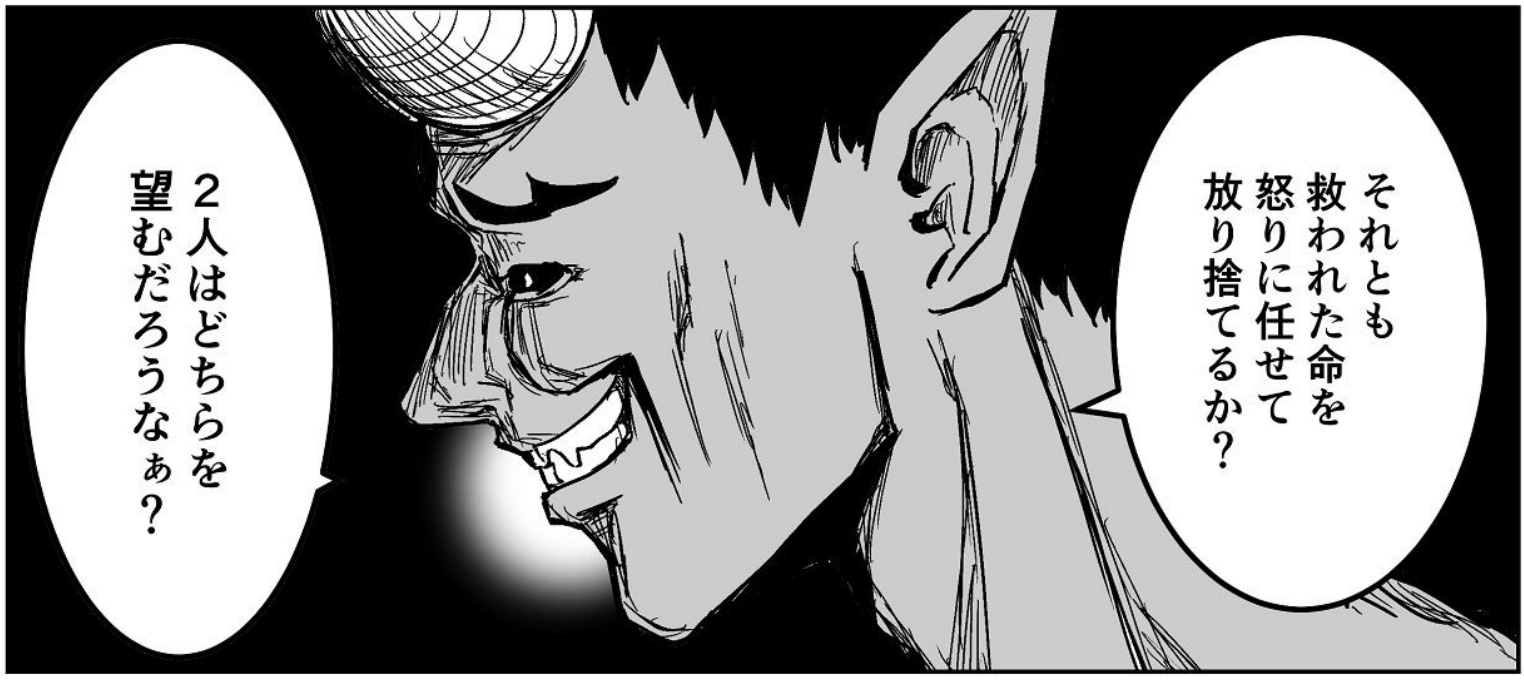

ギリッ
ギリ…

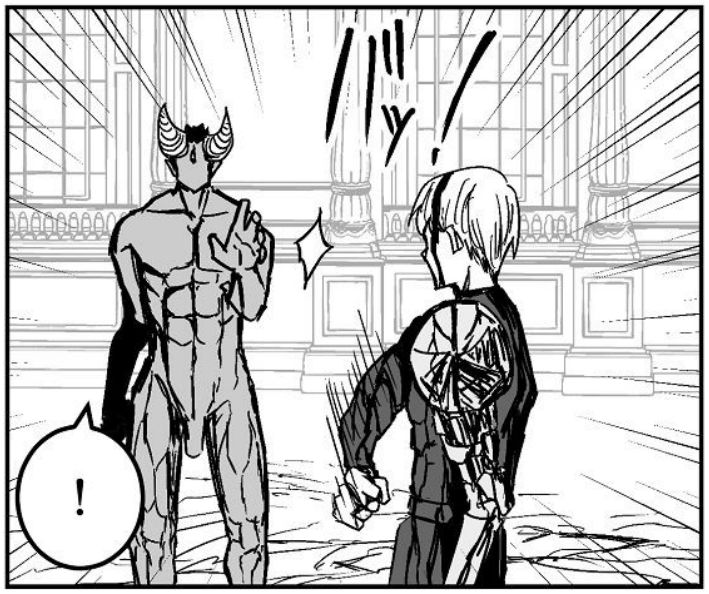

お前だけは
……！
お前だけは
絶対に
許さない……！


フッ


まぁ落ち着け
勇者よ
我は
満足したのだ

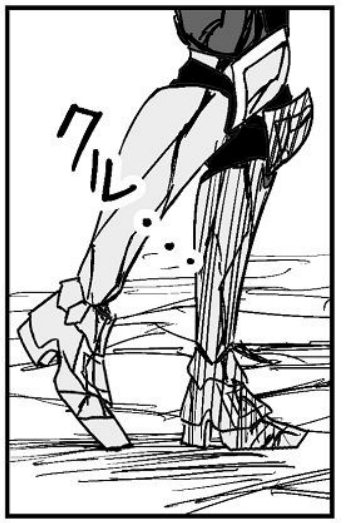

今すぐに
去るなら女達を
連れて帰って
いいぞ
破格の条件だと
思うが？
！


それとも
救われた命を
怒りに任せて
放り捨てるか？
2人はどちらを
望むだろうなぁ？

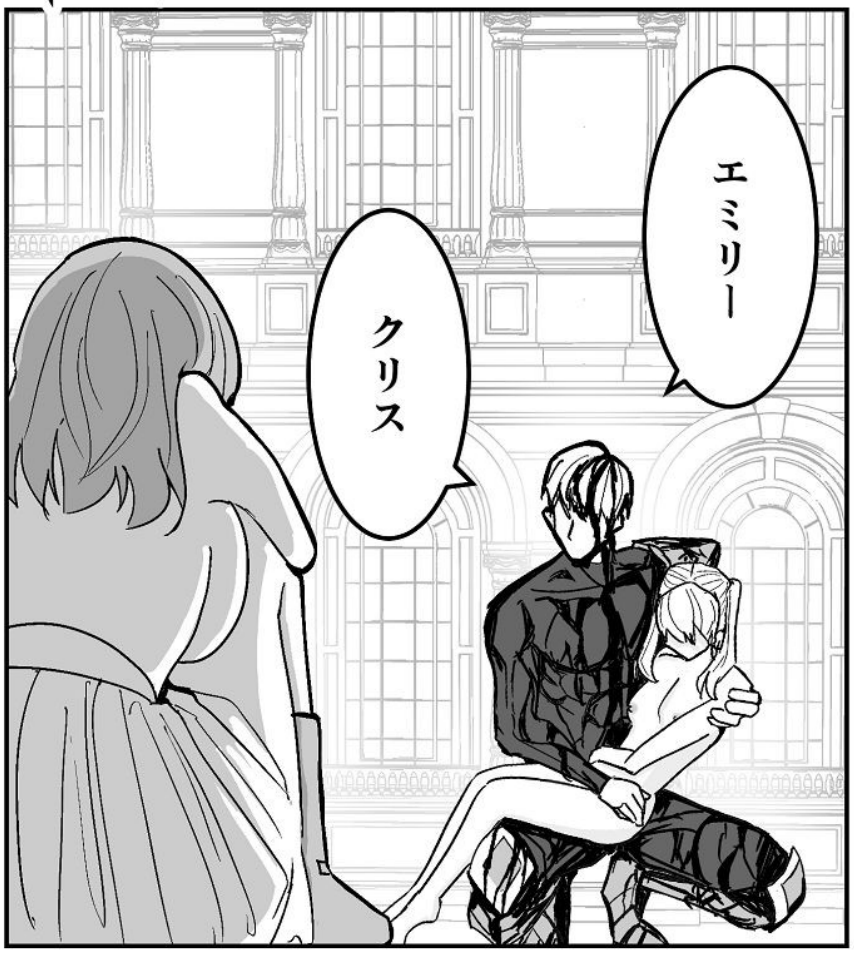

バッ！
！


……！
……！
ギリ…
ギリギリ…！


カツ
カツ
二言はないな
カツ
カツ


クレ…

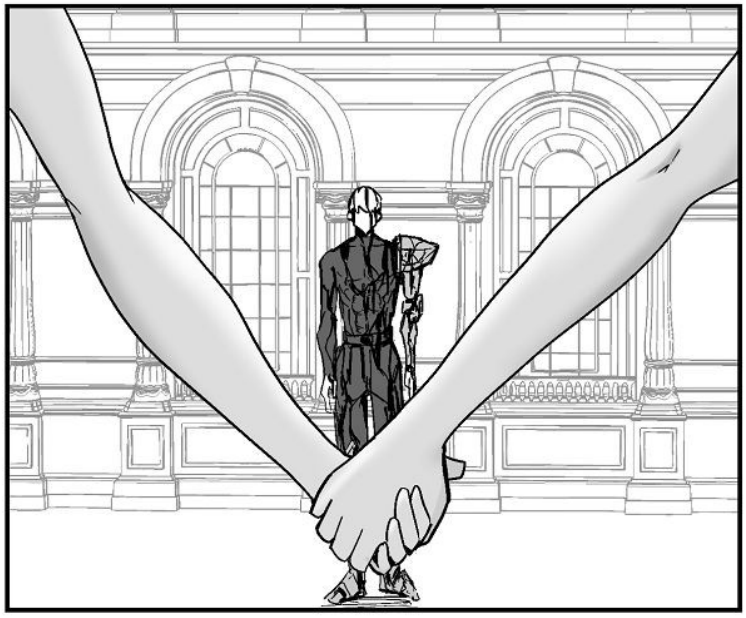

ニヤァ…
……ああ
魔族は
約束を守る

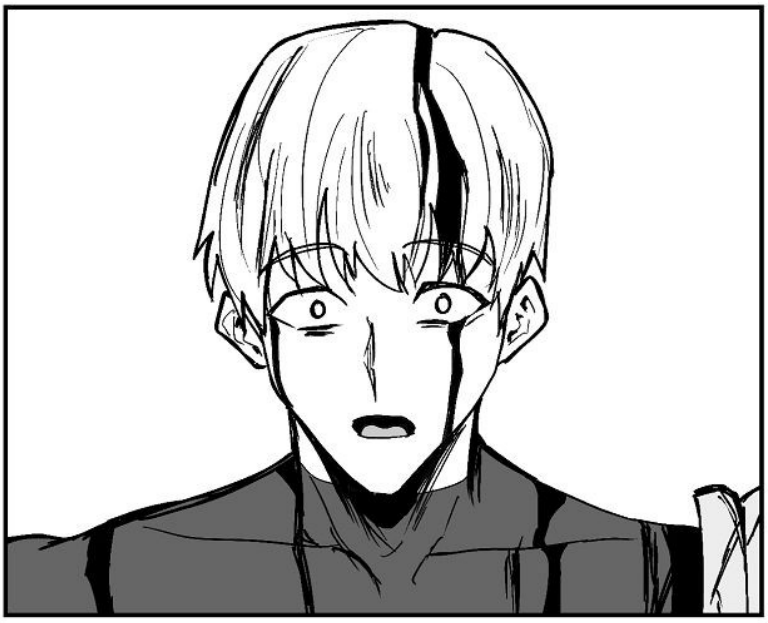

エミリー
クリス

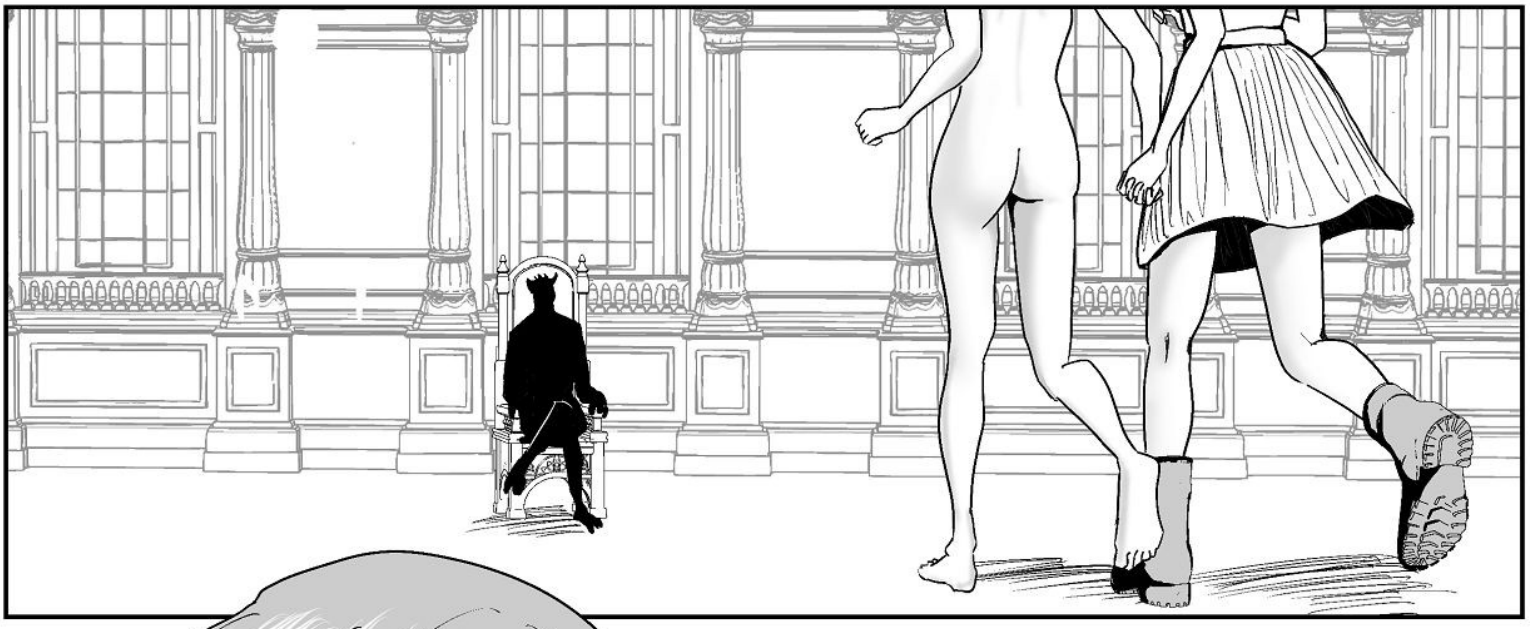

帰ろう
そして
一緒に暮らそう
パチ
エミリー！
よかった
起きたね
……
……？
？
……エミリー？

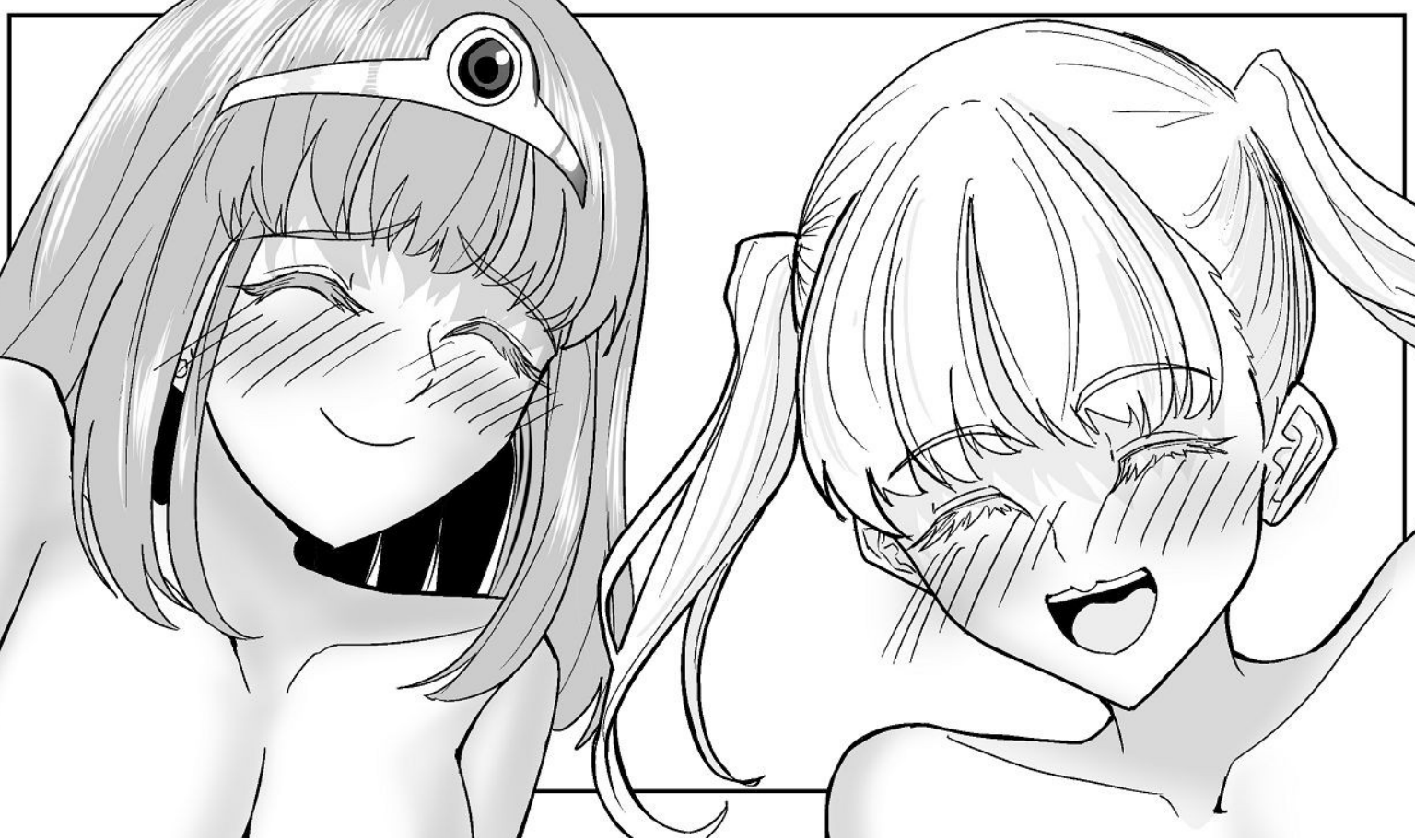

あなた
だれ？
……
……え？

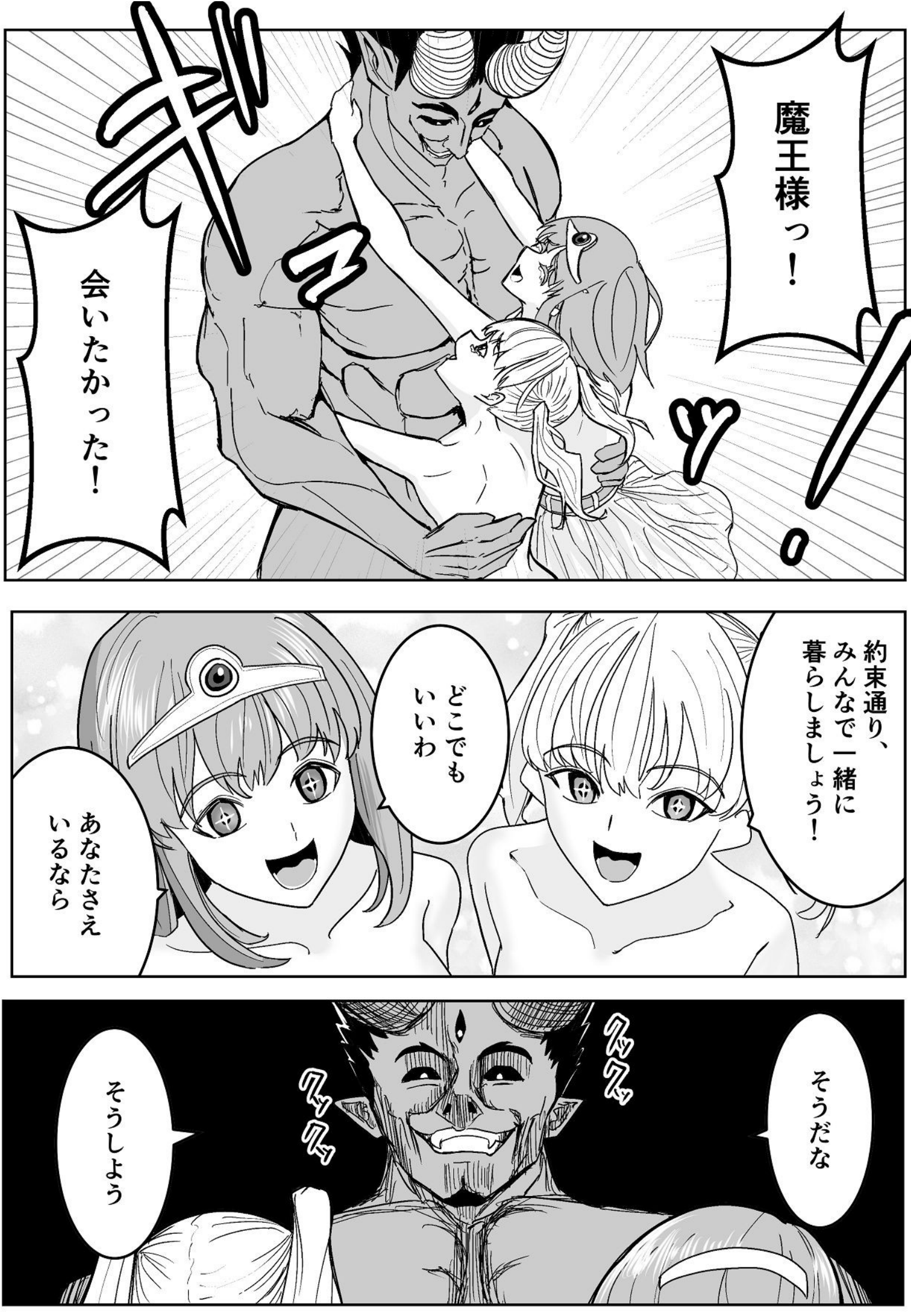

アイシクルエッジ！
!?
エミリーから離れなさい
オイアイアイア…
さもなくば撃ちます！
……!?
……クリス？
ハッ！
!?
ありがとうクリス
ううん
いきましょ





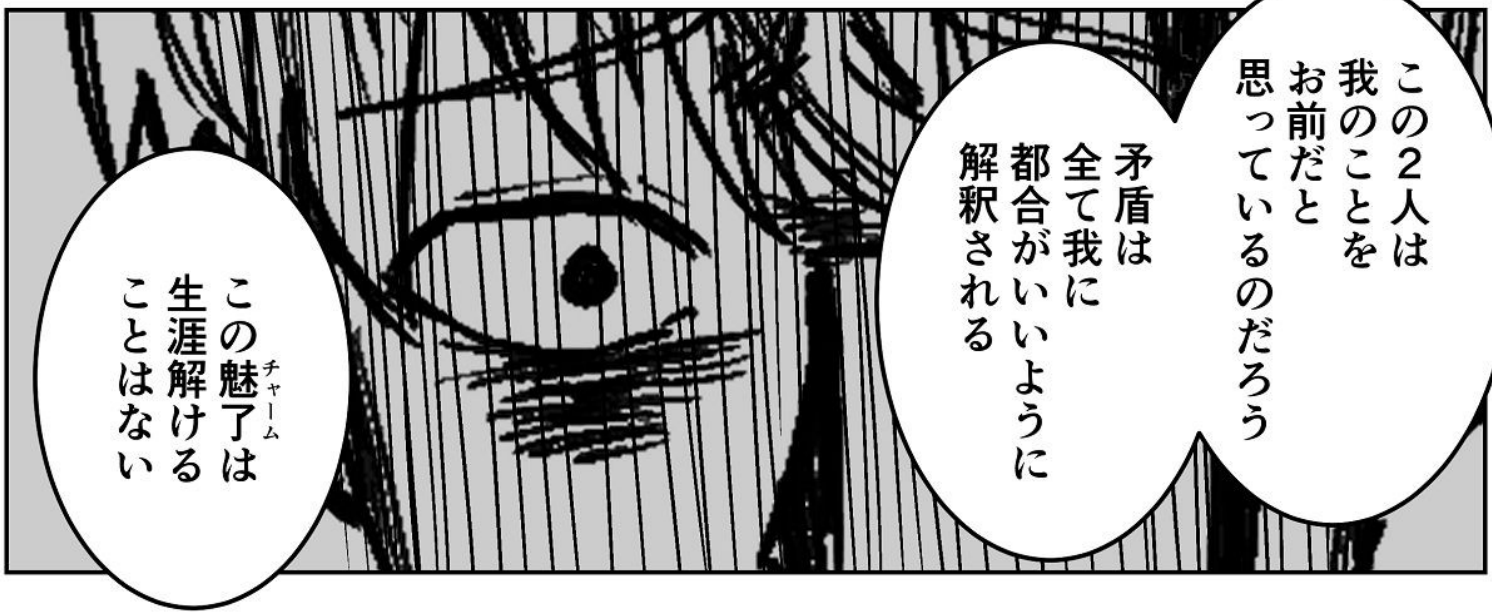


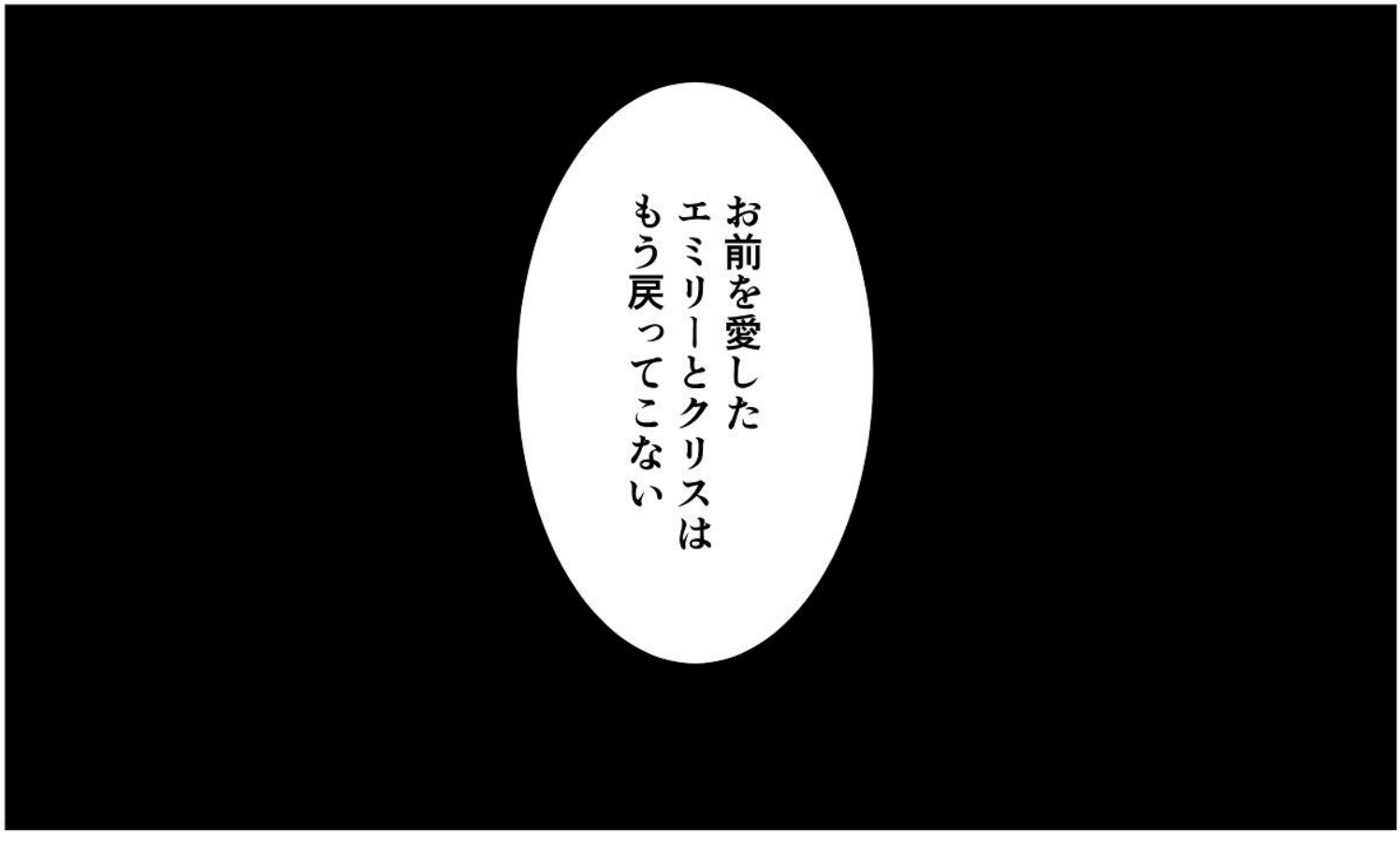



魔王様っ！
会いたかった！
約束通り、
みんなで一緒に
暮らしましょう！
どこでも
いいわ
あなたさえ
いるなら
そうだな
クックッ
クックッ
そうしよう

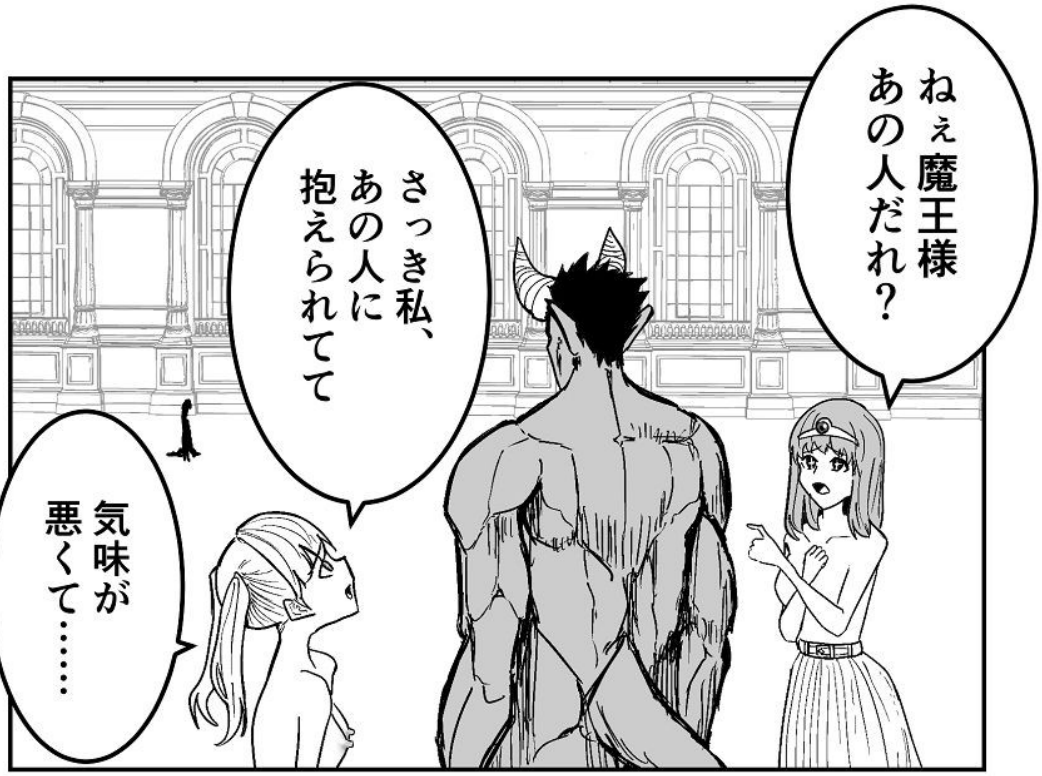

勇者よ
すまんな
1つ伝え忘れていた


我の精液を
子宮に
注がれた女は
我を最愛の
存在だと
誤認する
魅了(チャーム)がかかるのだ

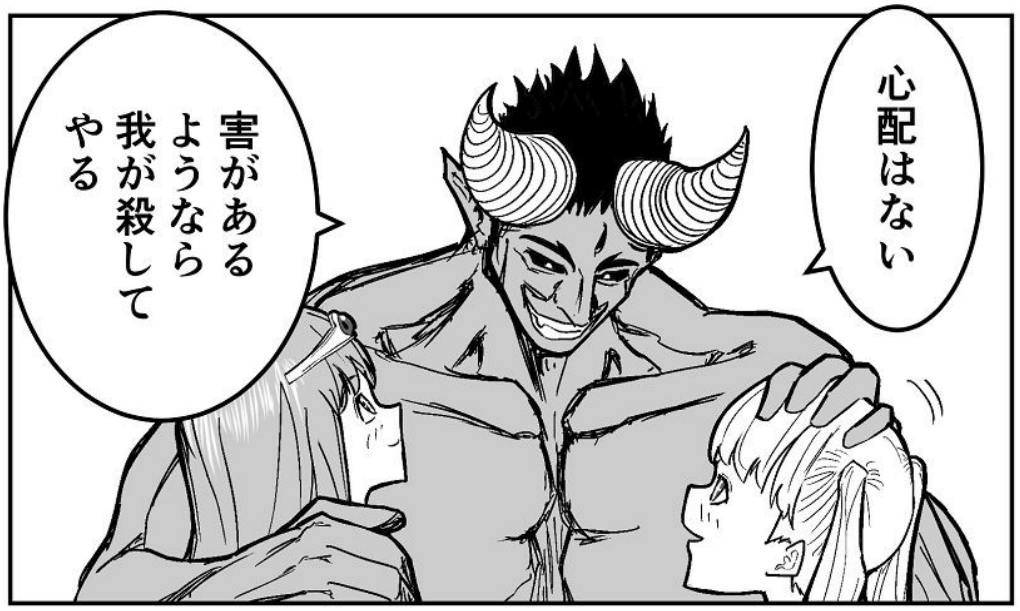

この2人は
我のことを
お前だと
思っているのだろう
矛盾は
全て我に
都合がいいように
解釈される
この魅了(チャーム)は
生涯解ける
ことはない


お前を愛した
エミリーとクリスは
もう戻ってこない

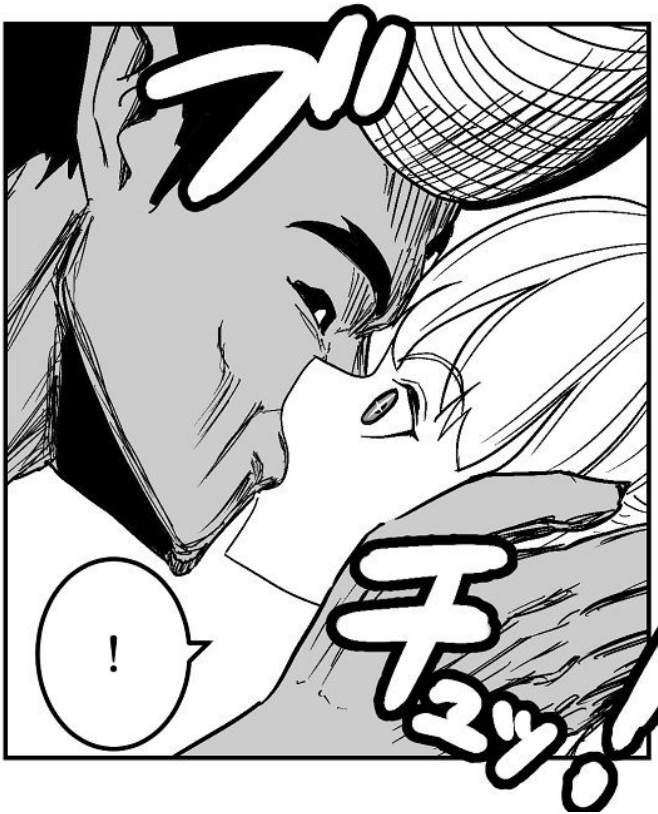

そ……
そんな……


ねぇ魔王様
あの人だれ？
さっき私、
あの人に
抱えられてて
気味が
悪くて……



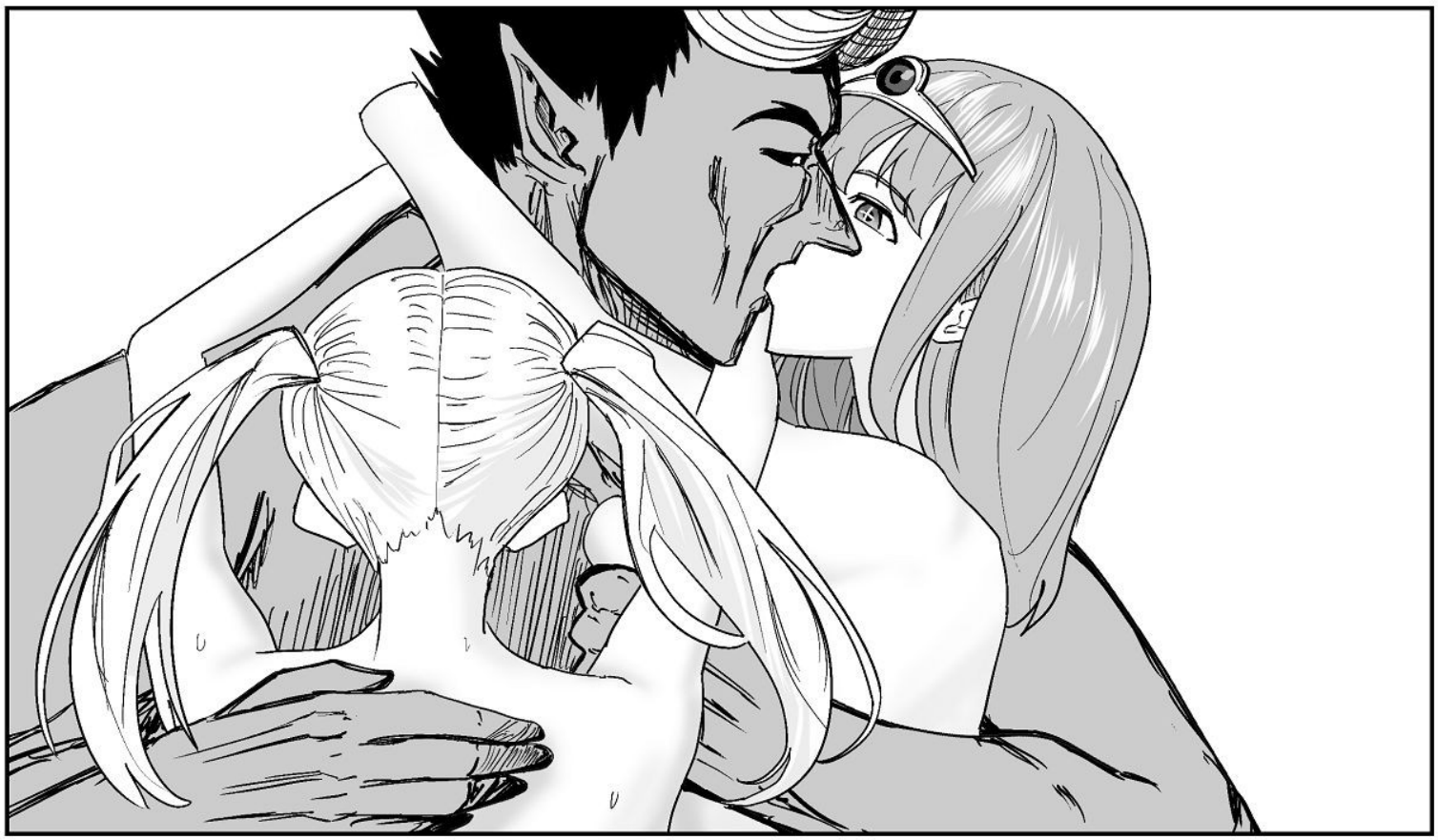

心配はない
害がある
ようなら
我が殺して
やる


それより――

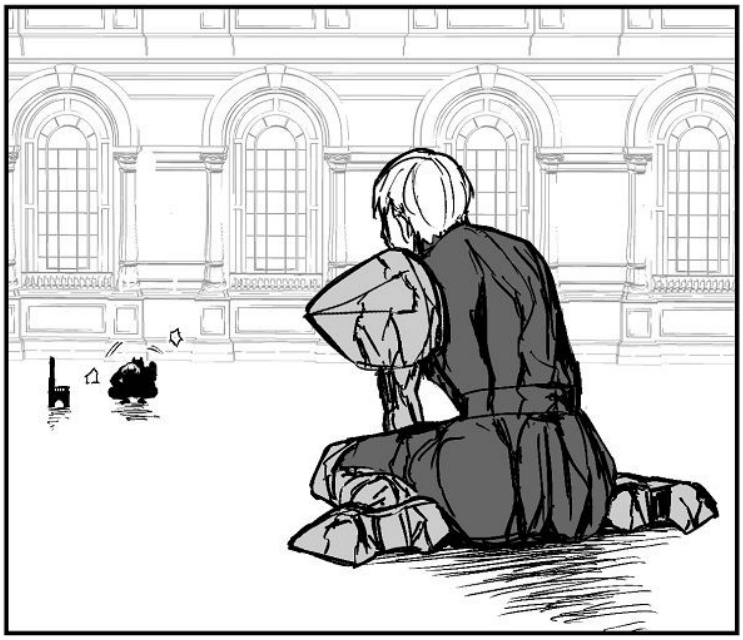

ブ
！
チュッ！


もう……
したいの？
いいよ？


あっ！
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ
あっ！
あっ！
あっ！
あっ！
ドドド
ドドド
ムニュ
ムニュ
チュッ
チュッ
チュッ
チュッ

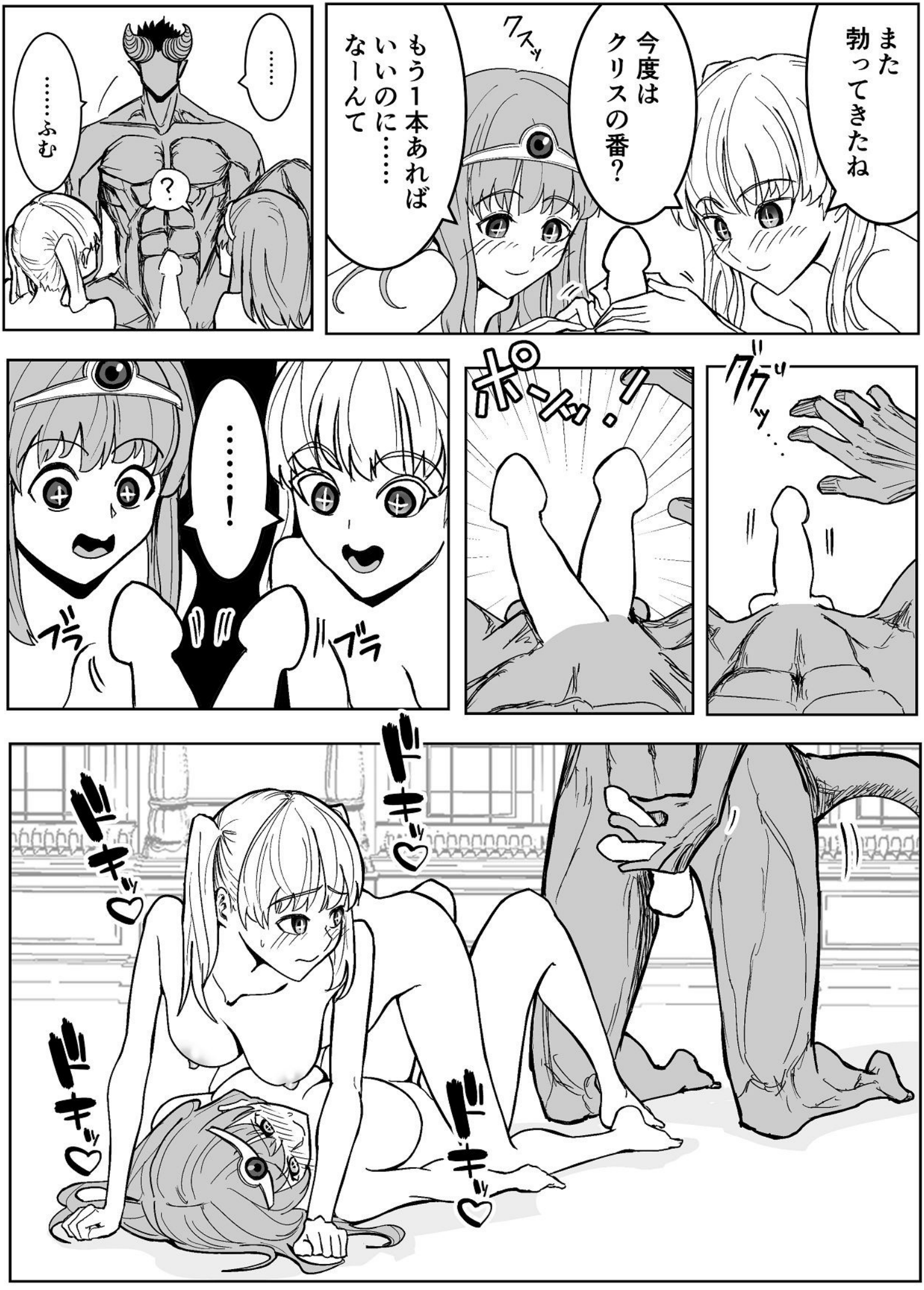



あ……
あー…



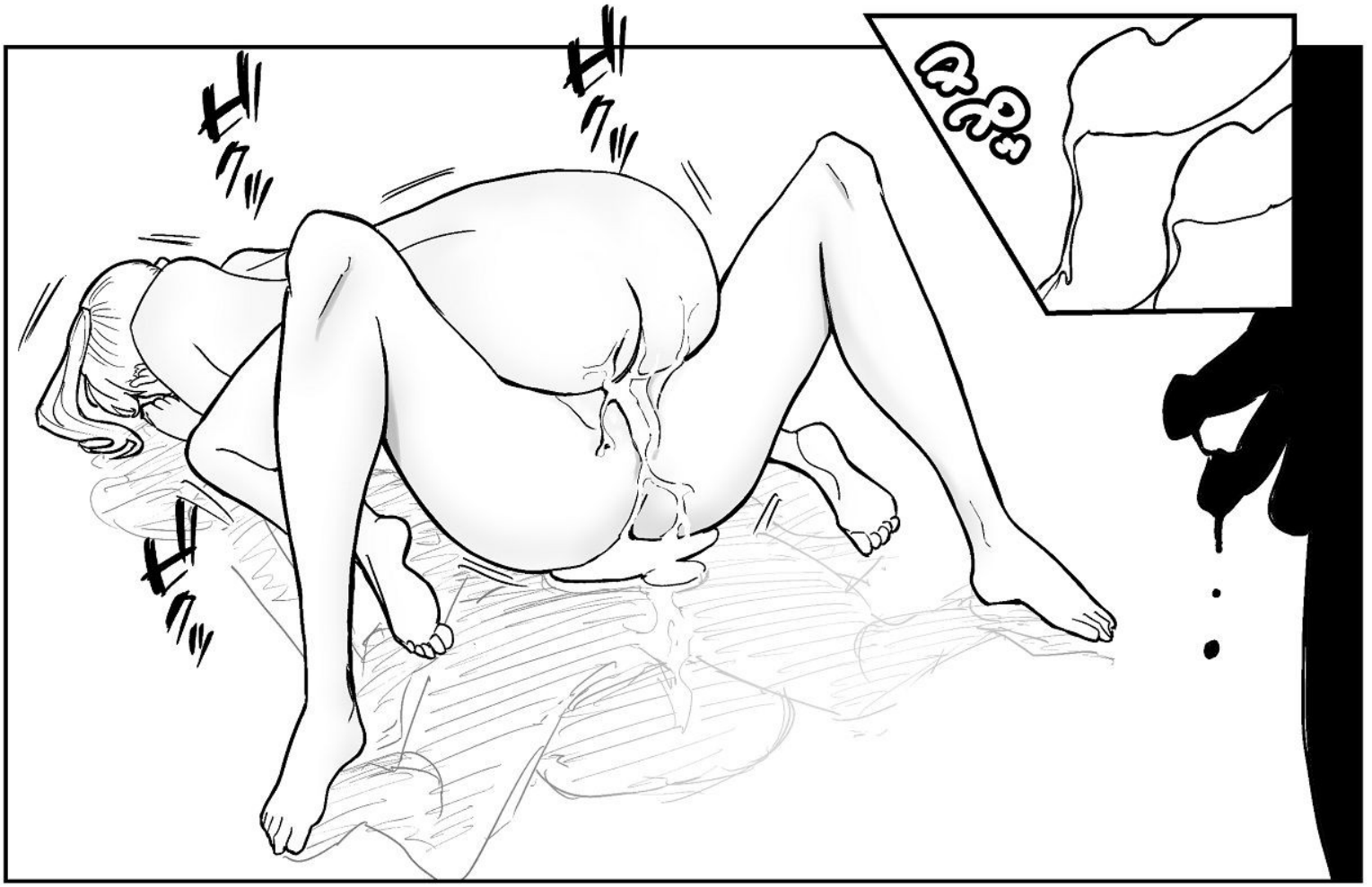

ビクッ！
ヒーッ！


にゃふ♡
にゃく♡
にゃふ♡
にゃー♡
にゃち♡
にゃし♡
あっ！
ヒクッ
ホッ
チュッ
あっ！
あっ！
ヒクッ
ホッ
チュッ
あっ！

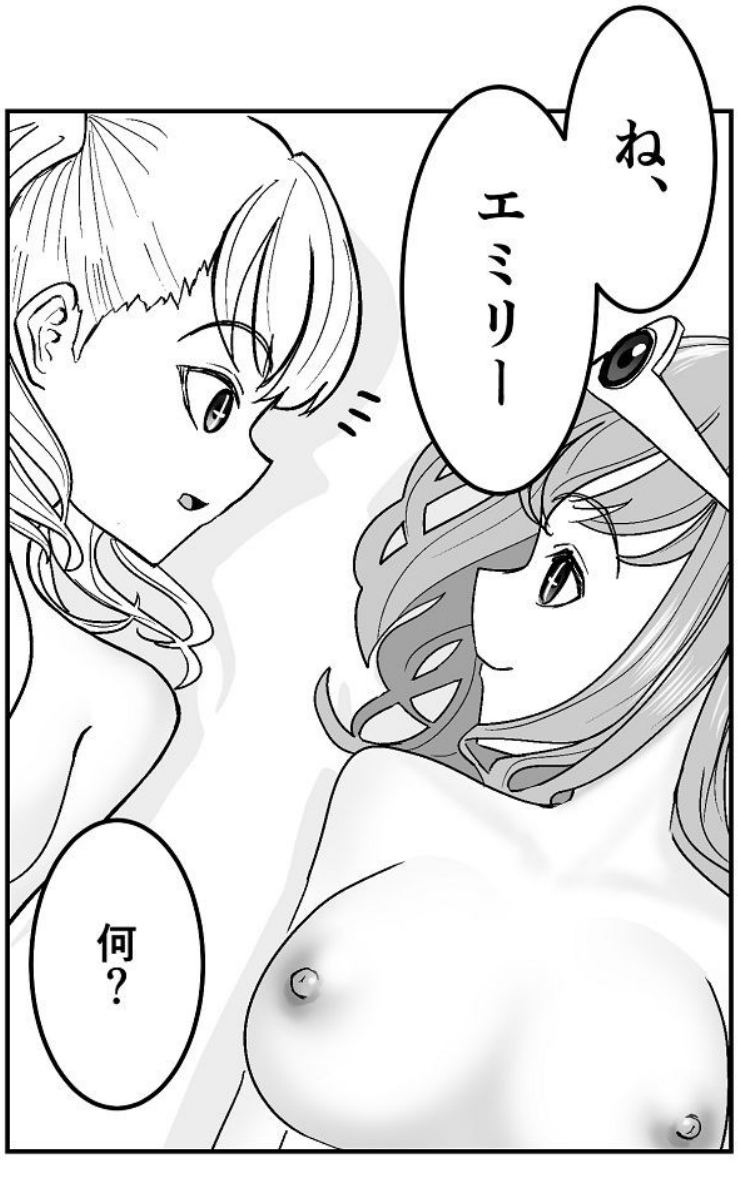

また
勃ってきたね
今度は
クリスの番？
クスッ
もう1本あれば
いいのに……
なーんて
……
……ふむ
？
グッ…
ポーン！
……！
ブラ
ブラ
ドキッ♡
ドキッ♡
ドキッ♡
ドキッ♡

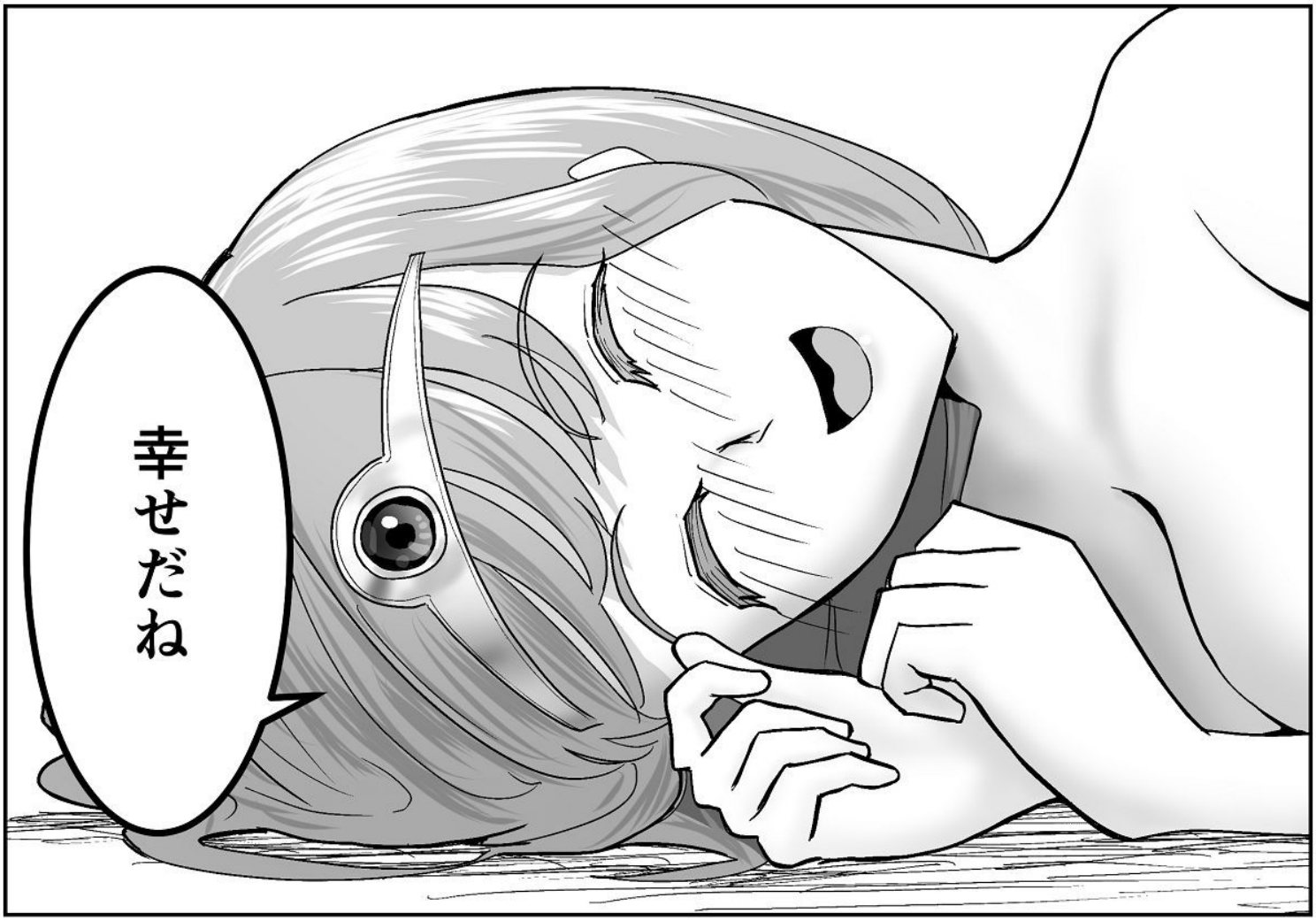

アアッ
あぁっ
アッ!!
あっ！
あっ！
あっ！
あっ！

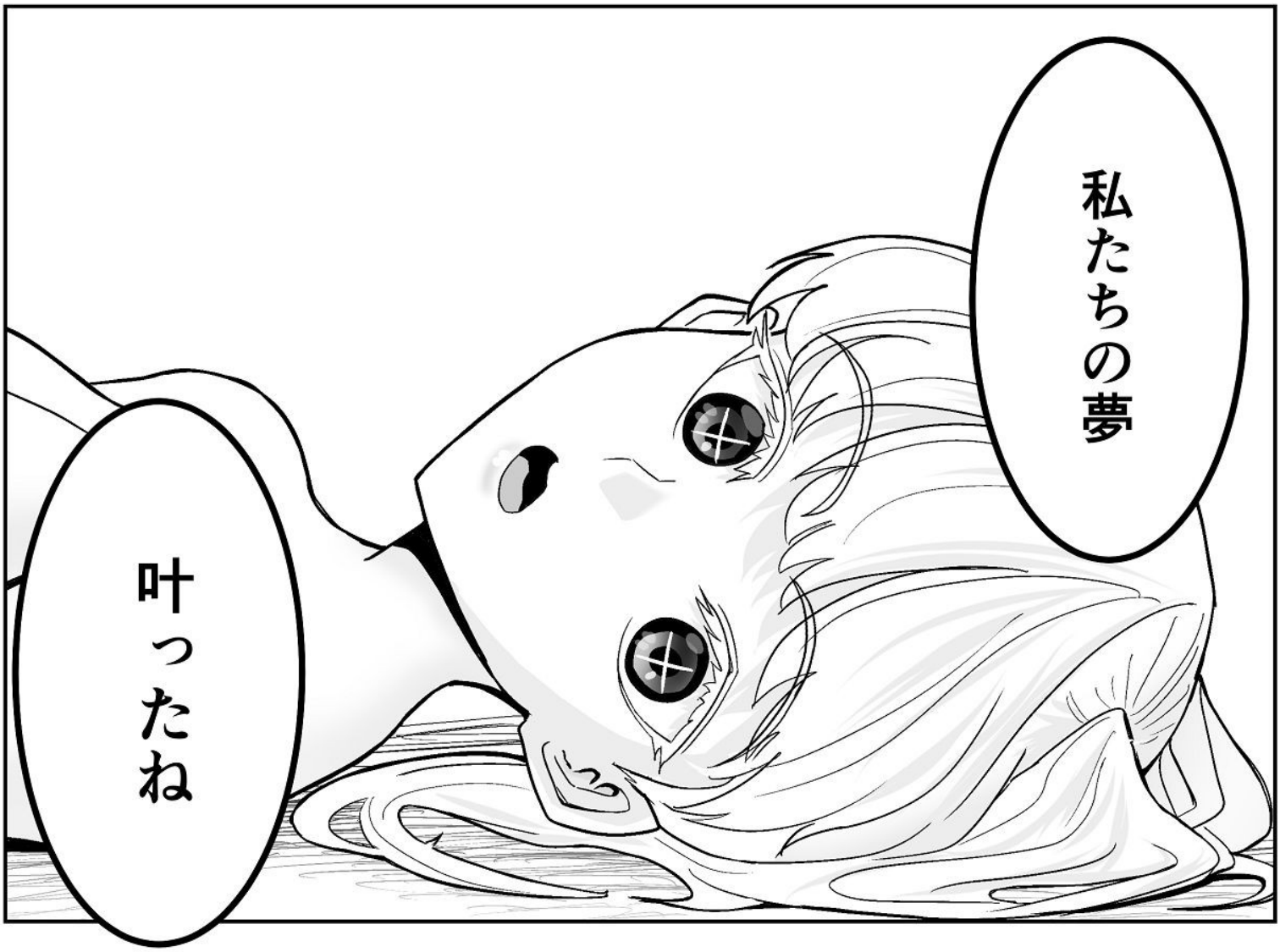

あぁ…


ぱぷ


ビクビク
ビクビク
ビクビク…


ね、
エミリー
何？


幸せだね


私たちの夢
叶ったね


うん……！
ドプッ
ズッ
ズッ
ズッ…